

令和4年度第4回 インターネット都政モニターアンケート

「東京の路上工事の現状」

調査結果



調査実施の概要

- 1 アンケートテーマ**
東京の路上工事の現状
- 2 アンケート目的**
路上工事全般への印象や現在行っている路上工事対策の取組への評価を把握し、今後の施策立案の参考とする。
- 3 アンケート期間**
令和4年10月19日（水曜日）から10月25日（火曜日）まで
- 4 アンケート方法**
インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。
- 5 インターネット都政モニター数**
500人
- 6 回答者数**
492人
- 7 回答率**
98.4%

東京の路上工事の現状

1 調査項目

- Q 1 路上工事件数の印象
- Q 2 多いと思う路上工事
- Q 3 令和3年度の路上工事の印象
- Q 4 自動車等の利用状況
- Q 5 新型コロナウイルス感染症に伴う乗用車の利用
- Q 6 路上工事に対してよくなったと感じた点
- Q 7 路上工事に対して不満を感じた点
- Q 8 路上工事に対する不満の頻度
- Q 9 不満を感じた路上工事現場
- Q 10 不満や不便を解消するための対策
- Q 11 知っている路上工事対策
- Q 12 路上工事の情報収集
- Q 13 路上工事看板・事業説明看板
- Q 14 路上工事の周知チラシ
- Q 15 路上工事の目的の認知度
- Q 16 繁忙期の路上工事の抑制効果
- Q 17 同一箇所掘り返しの抑制効果
- Q 18 今後の路上工事
- Q 19 路上工事に関して（自由意見）

		モニター 人数	回 答		
			人数	構成比	率
全 体		500	492	-	98.4
性 別	男性	250	246	50.0	98.4
	女性	250	246	50.0	98.4
年 代 別	18・19歳	9	9	1.8	100.0
	20代	64	63	12.8	98.4
	30代	83	78	15.9	94.0
	40代	93	93	18.9	100.0
	50代	85	84	17.1	98.8
	60代	78	77	15.7	98.7
	70歳以上	88	88	17.9	100.0
職 業 別	自営業	51	51	10.4	100.0
	常勤	221	215	43.7	97.3
	パート・アルバイト	46	45	9.1	97.8
	主婦・主夫	92	91	18.5	98.9
	学生	27	27	5.5	100.0
	無職	63	63	12.8	100.0
居住地域別	東京都区部	344	337	68.5	98.0
	東京都市町村部	156	155	31.5	99.4

※ 集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n（number of cases）は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・（MA）＝いくつでも選択、（3MA）＝3つまで選択、（2MA）＝2つまで選択

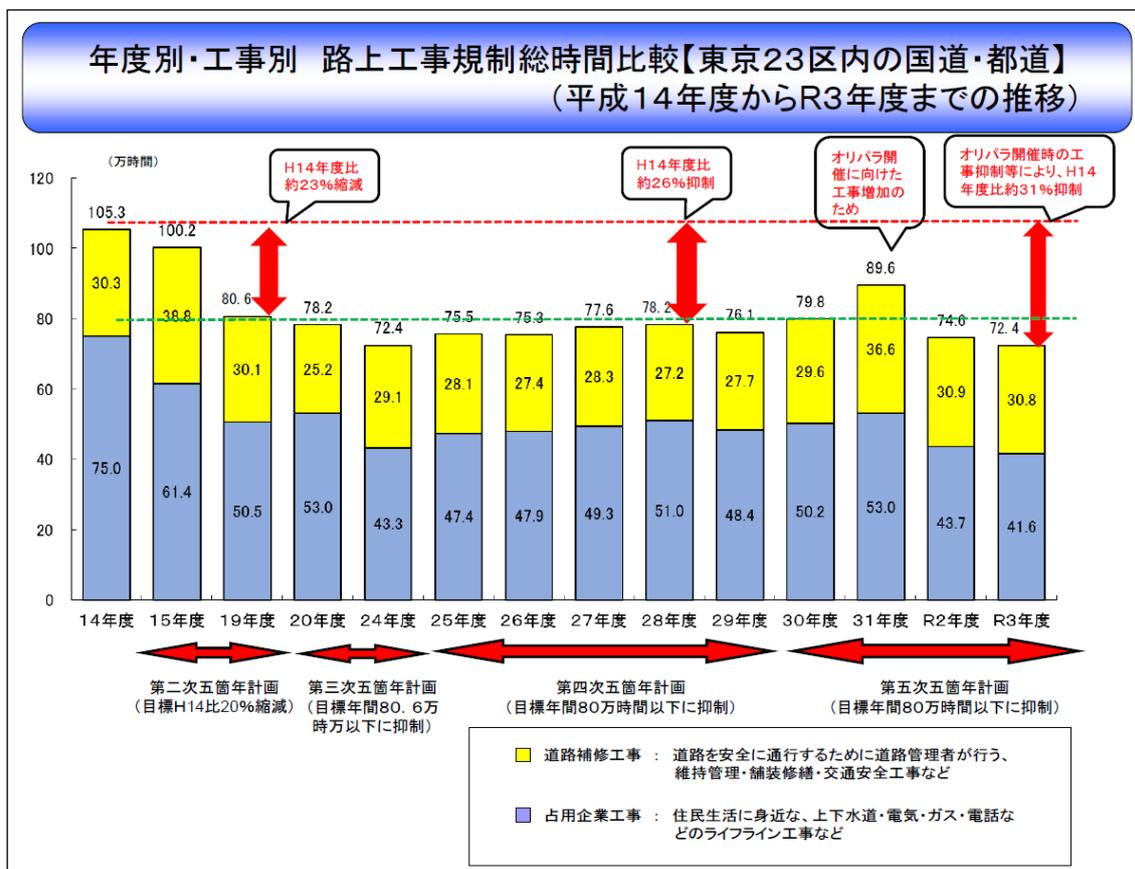
東京都では、路上工事に係る道路交通の円滑化を図るため、国、警視庁、ライフライン事業者等と東京都道路工事調整協議会（以下「協議会」）を組織し、国道（高速道路含む）・都道の路上工事が計画的に行われるよう、路上工事の抑制などの路上工事対策を推進する「五箇年計画」を策定しています。

その計画が今年度で終了することから、より一層の路上工事の改善を実現するため、令和5年度以降の路上工事対策の計画について検討しています。

今回のアンケート調査では、新たな路上工事対策の計画策定等の参考とするため、モニターの皆さまにご意見を伺います。

【参考資料】

- ・東京都内の路上工事対策「五箇年計画」-第五次「五箇年計画」（2018年～2022年度）
https://www.kirenkyo.gr.jp/sites/default/files/doc/tonai_gokanen_keikaku_2019.pdf
- ・年度別・工事別 路上工事規制総時間比較【東京23区内の国道・都道】



※ 都内の国道・都道については、以下のホームページをご覧ください。

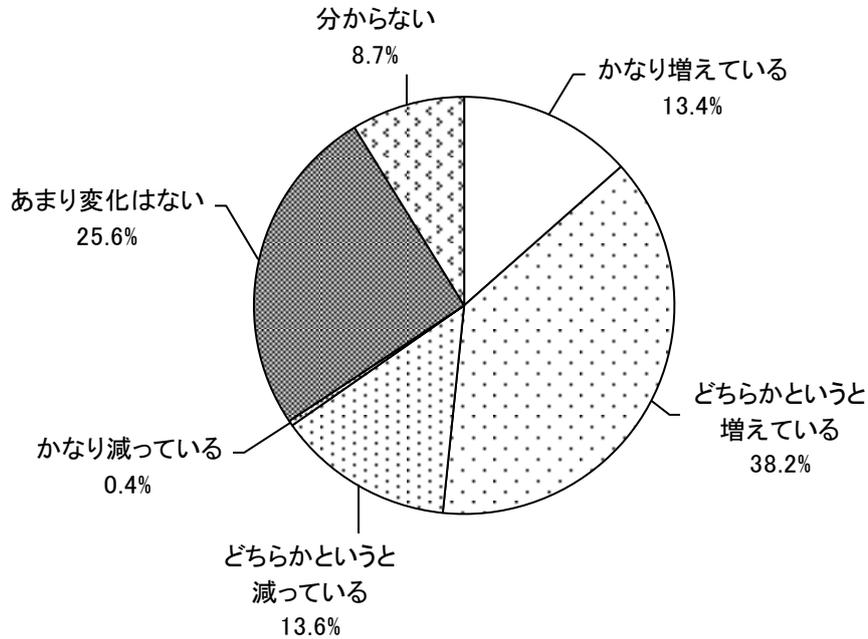
【東京都通称道路名～道路のわかりやすく親しみやすい名称～】

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/road/information/tusyodoro/meisho.html>

路上工事件数の印象

Q1 あなたは現在の路上工事の件数について、ここ5年ほどの間で変化を感じますか。

(n=492)

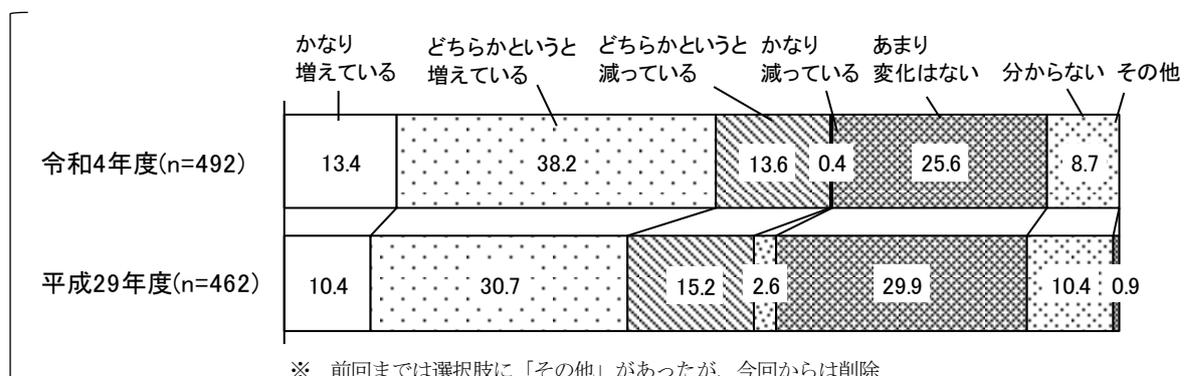


【調査結果の概要】

路上工事件数の印象で、ここ5年ほどの間で感じた変化について聞いたところ、『増えている』(51.6%) (「かなり増えている」(13.4%)、「どちらかという増えている」(38.2%))が5割超であり、『減っている』(14.0%) (「どちらかという減っている」(13.6%)、「かなり減っている」(0.4%))は1割半ばであった。

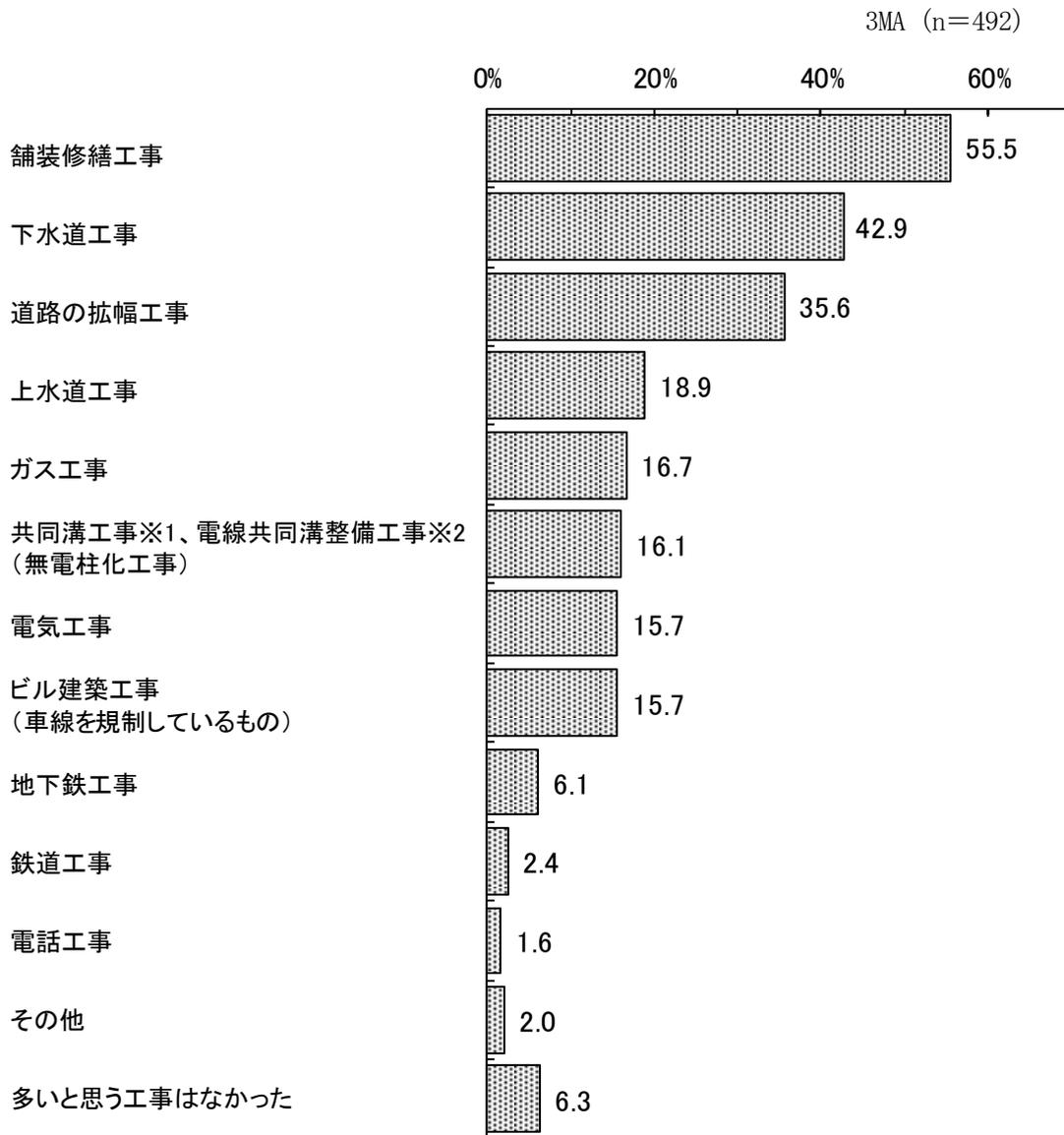
なお、「あまり変化はない」(25.6%)は2割半ばであった。

◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



多いと思う路上工事

Q2 あなたが特に多いと思われる路上工事の種類は何ですか。次の中から3つまで選んでください。



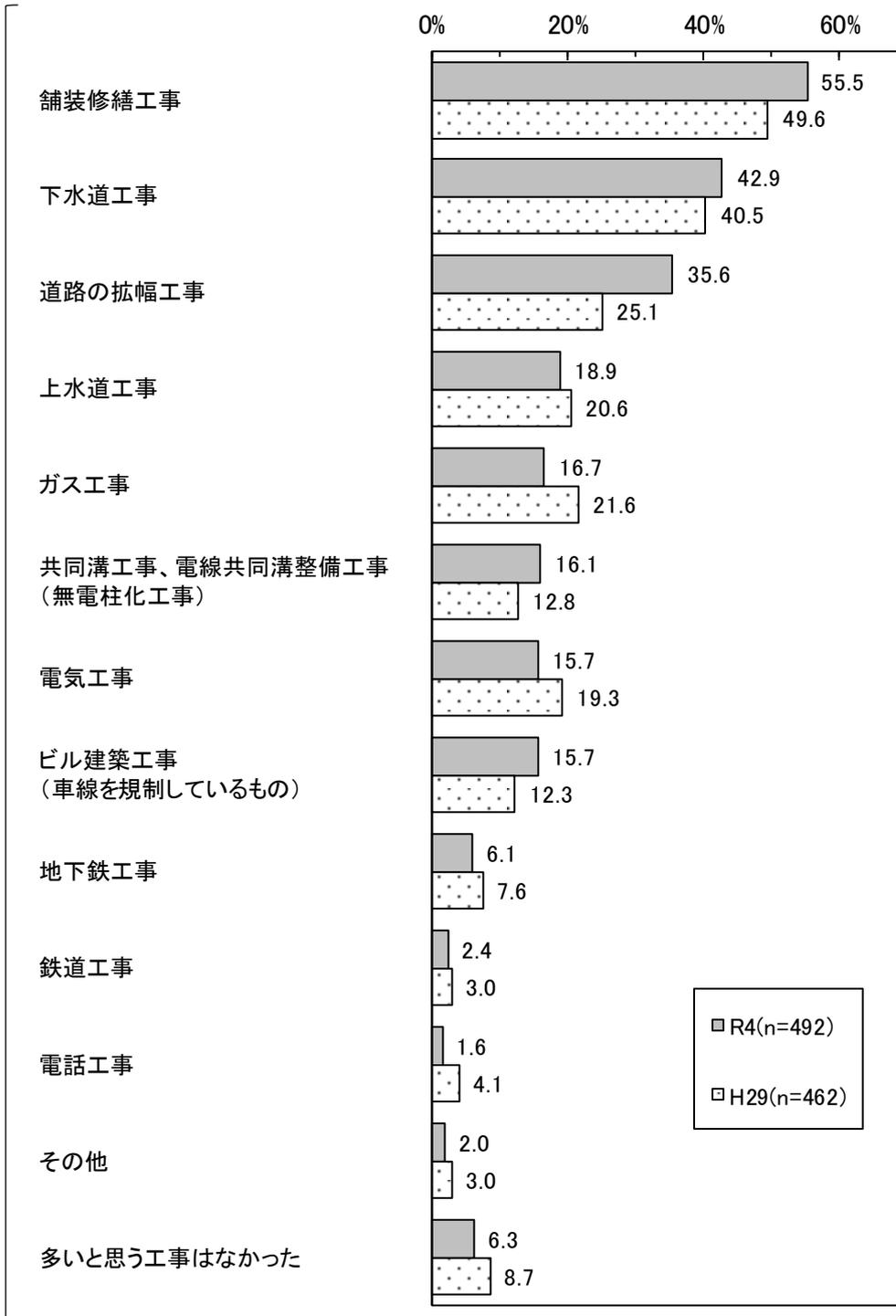
※1 共同溝：都市生活に必要不可欠な電気、電話、ガス、水道、下水道などを道路の地下にまとめて収容する施設。都市景観の向上に加え、震災時には収容施設の損傷防止等の効果がある。

※2 電線共同溝：地上の電柱や上空の電線を、地下空間に収容するための施設。都市景観の向上に加え、震災時には電柱の倒壊を防ぐとともに、電線類の被災を軽減する効果がある。

【調査結果の概要】

特に多いと思う路上工事の種類について聞いたところ、「舗装修繕工事」(55.5%)が5割半ばで最も高く、以下、「下水道工事」(42.9%)、「道路の拡幅工事」(35.6%)などと続いている。

◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)

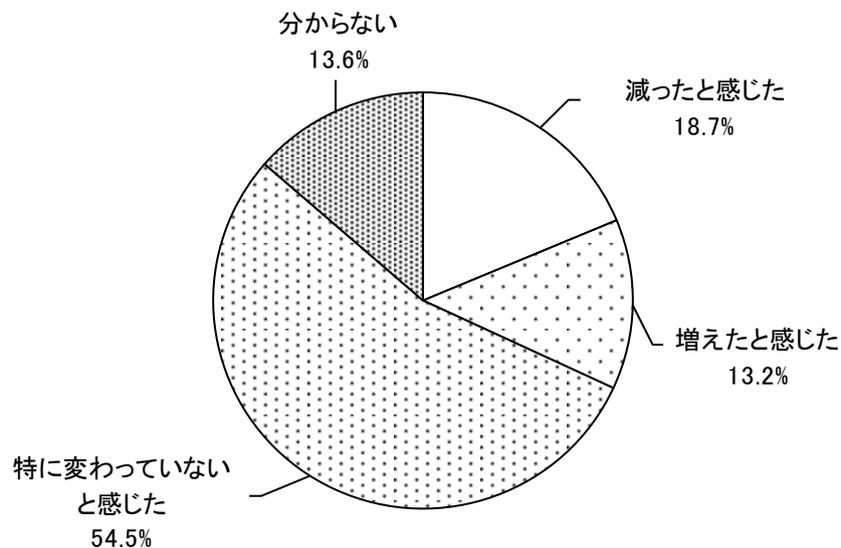


令和3年度の路上工事の印象

Q3 令和3年度は、例年の路上工事対策に加え、東京2020大会が開催され、過去5年間で路上工事総時間(都内で行われた1年間の車線規制を伴う道路工事の合計時間)が最も少ない年となりました。

あなたは令和3年度の路上工事について、例年と比較して変化を感じましたか。

(n=492)

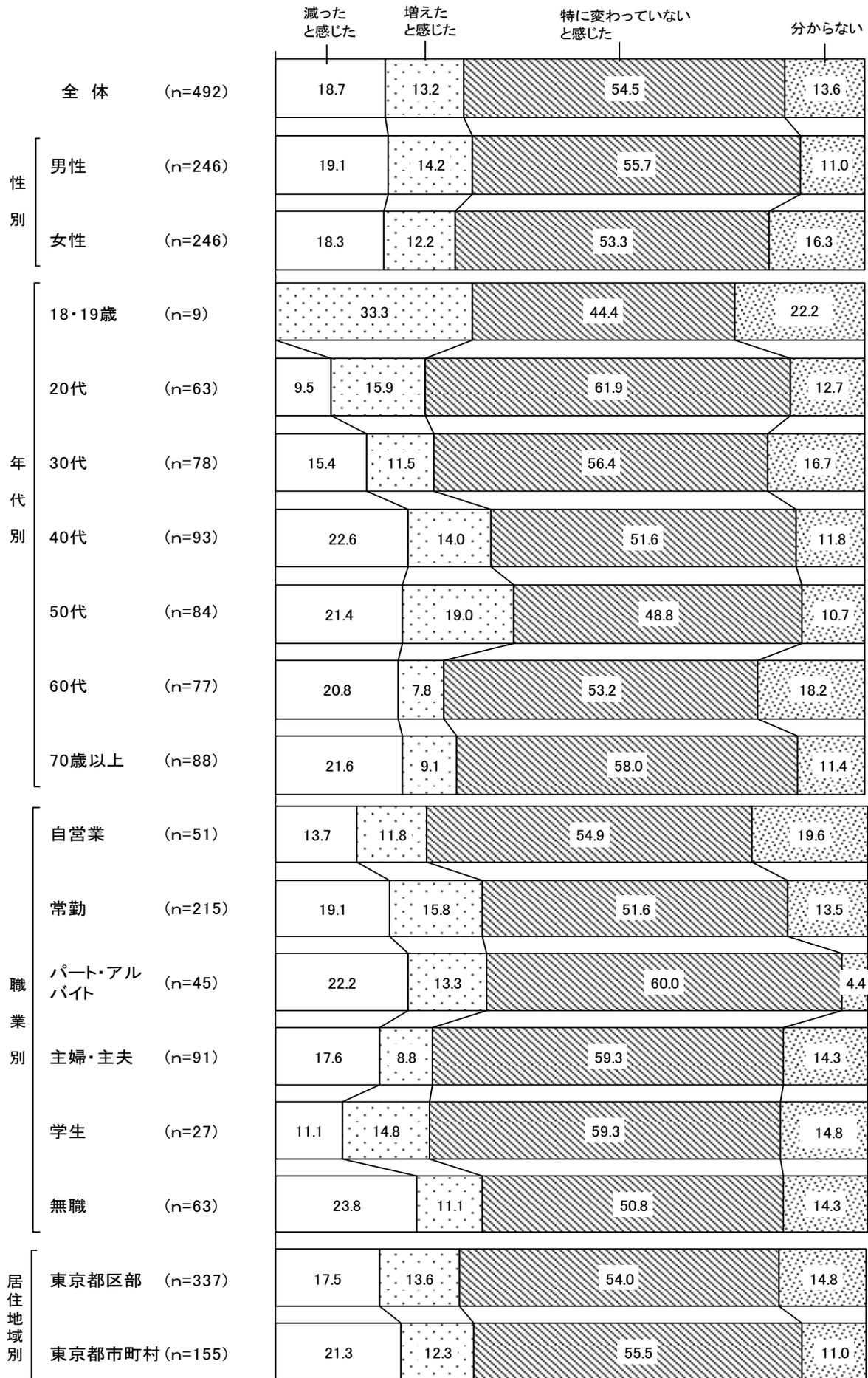


【調査結果の概要】

令和3年度の路上工事で、例年と比較して感じた変化について聞いたところ、「特に変わっていないと感じた」(54.5%)が5割半ばで最も高く、以下、「減ったと感じた」(18.7%)、「増えたと感じた」(13.2%)と続いている。

なお、「分からない」(13.6%)は1割半ばであった。

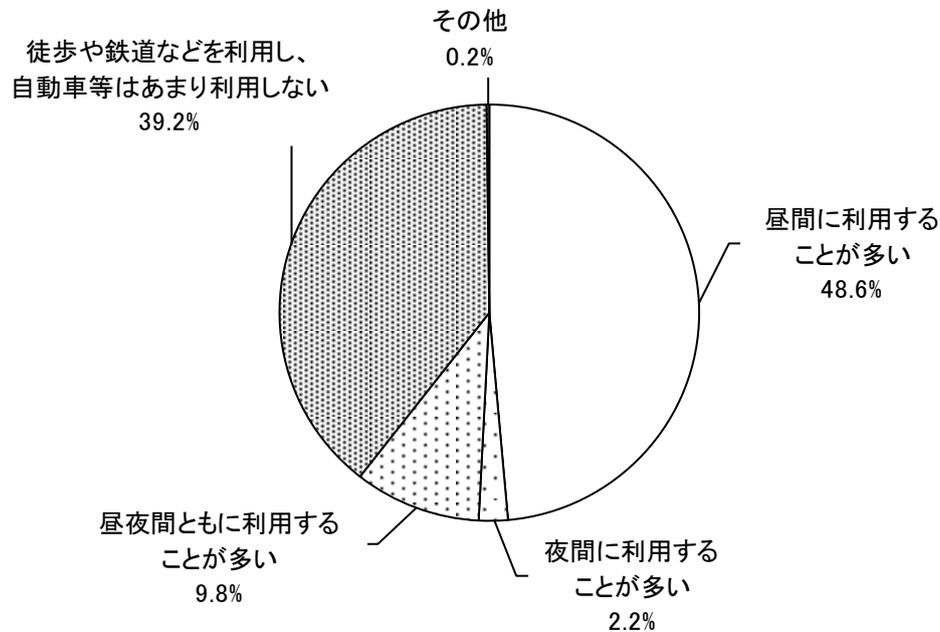
◎令和3年度の路上工事の印象（属性別）



自動車等の利用状況

Q 4 あなたは都内の移動で自動車等（バイク、バス、タクシーなど含む）を利用する場合、最も利用することが多い状況はいつですか。

(n = 492)

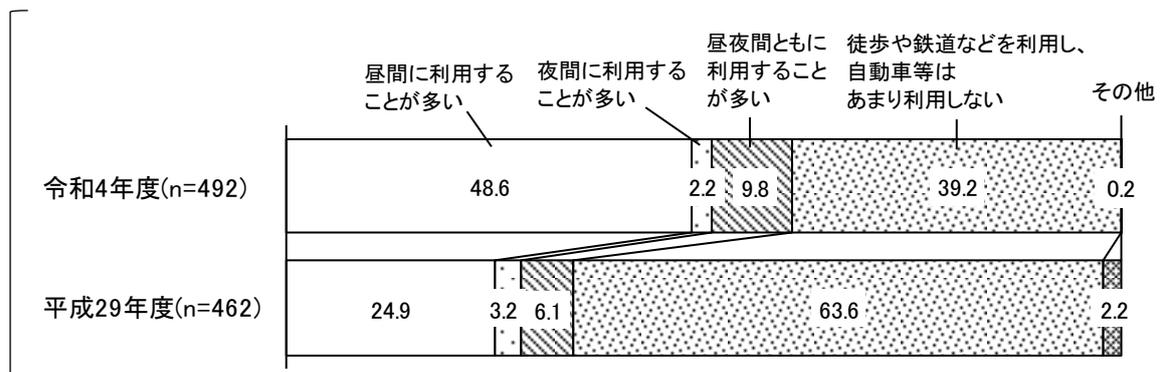


(注) 昼間：6時から21時まで
夜間：21時から翌朝6時まで

【調査結果の概要】

都内の移動で、自動車等を最も多く利用する状況について聞いたところ、「昼間に利用することが多い」(48.6%)が5割近くで最も高く、以下、「徒歩や鉄道などを利用し、自動車等はあまり利用しない」(39.2%)、「昼夜間ともに利用することが多い」(9.8%)などと続いている。

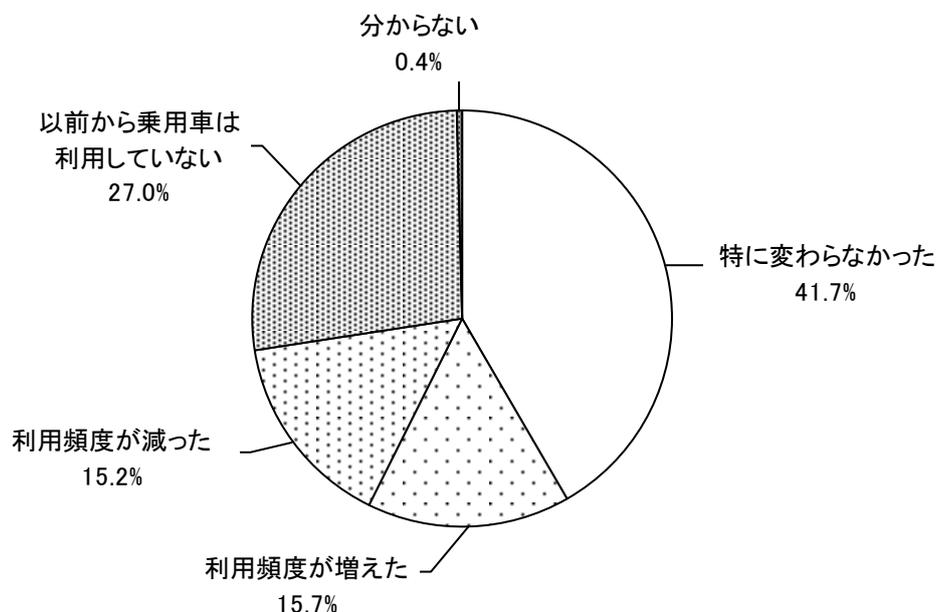
◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



新型コロナウイルス感染症に伴う乗用車の利用

Q 5 あなたは、新型コロナウイルス感染症の流行拡大前(令和2年以前)と比べて、都内の移動手段として乗用車(自家用車、タクシー)を利用する頻度に変化はありましたか。

(n=492)



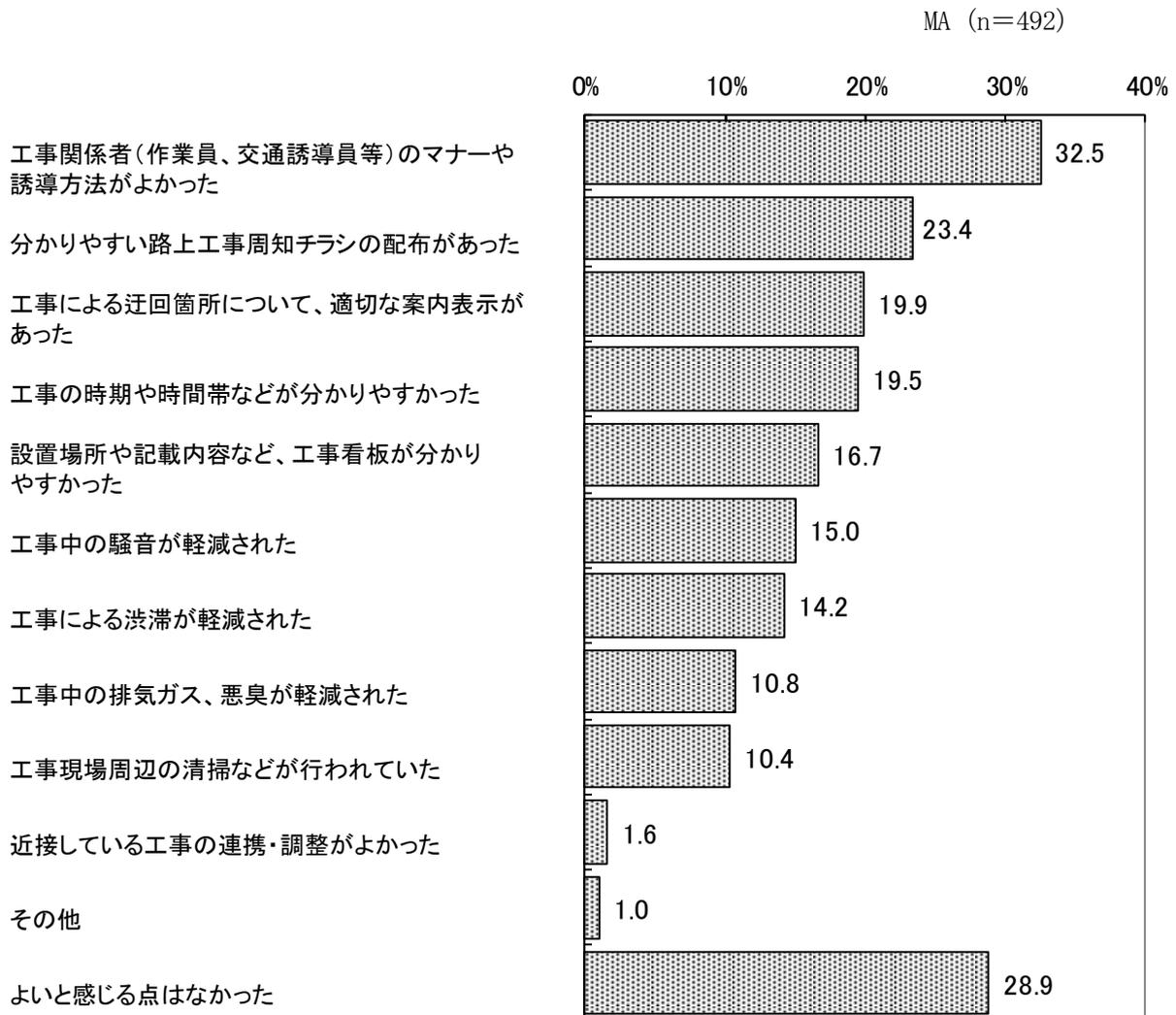
【調査結果の概要】

新型コロナウイルス感染症の流行拡大前(令和2年以前)と比べて、都内の移動手段としての乗用車の利用頻度の変化について聞いたところ、「特に変わらなかった」(41.7%)が4割を超えて最も高く、以下、「利用頻度が増えた」(15.7%)、「利用頻度が減った」(15.2%)などと続いている。

なお、「以前から乗用車は利用していない」(27.0%)は3割近くであった。

路上工事に対してよくなったと感じた点

Q 6 あなたは路上工事について、この5年ほどの間でどのような点がよくなったと感じましたか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

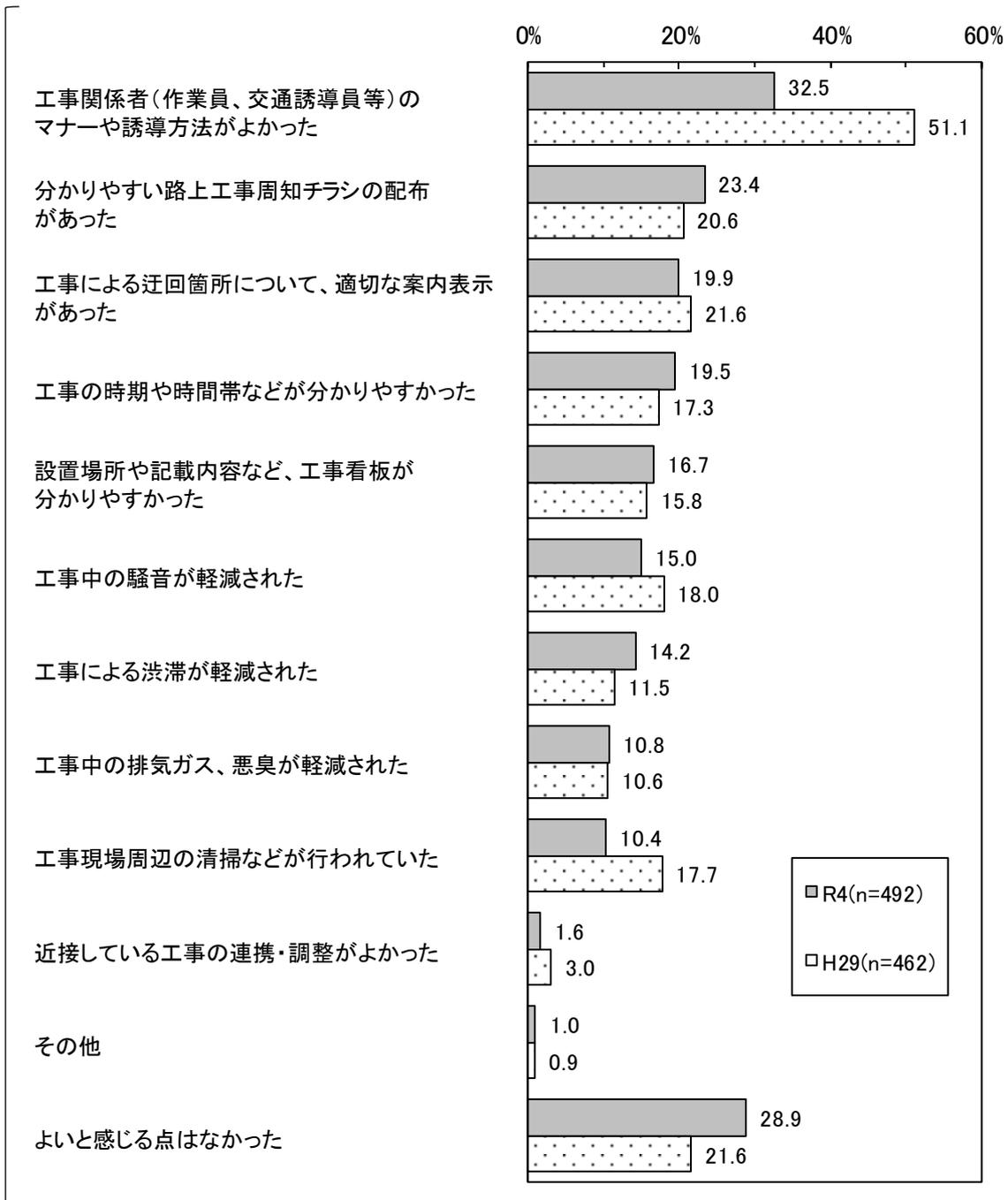


【調査結果の概要】

この5年ほどの間で、路上工事に対してよくなったと感じた点について聞いたところ、「工事関係者（作業員、交通誘導員等）のマナーや誘導方法がよかった」（32.5%）が3割を超えて最も高く、以下、「分かりやすい路上工事周知チラシの配布があった」（23.4%）、「工事による迂回箇所について、適切な案内表示があった」（19.9%）などと続いている。

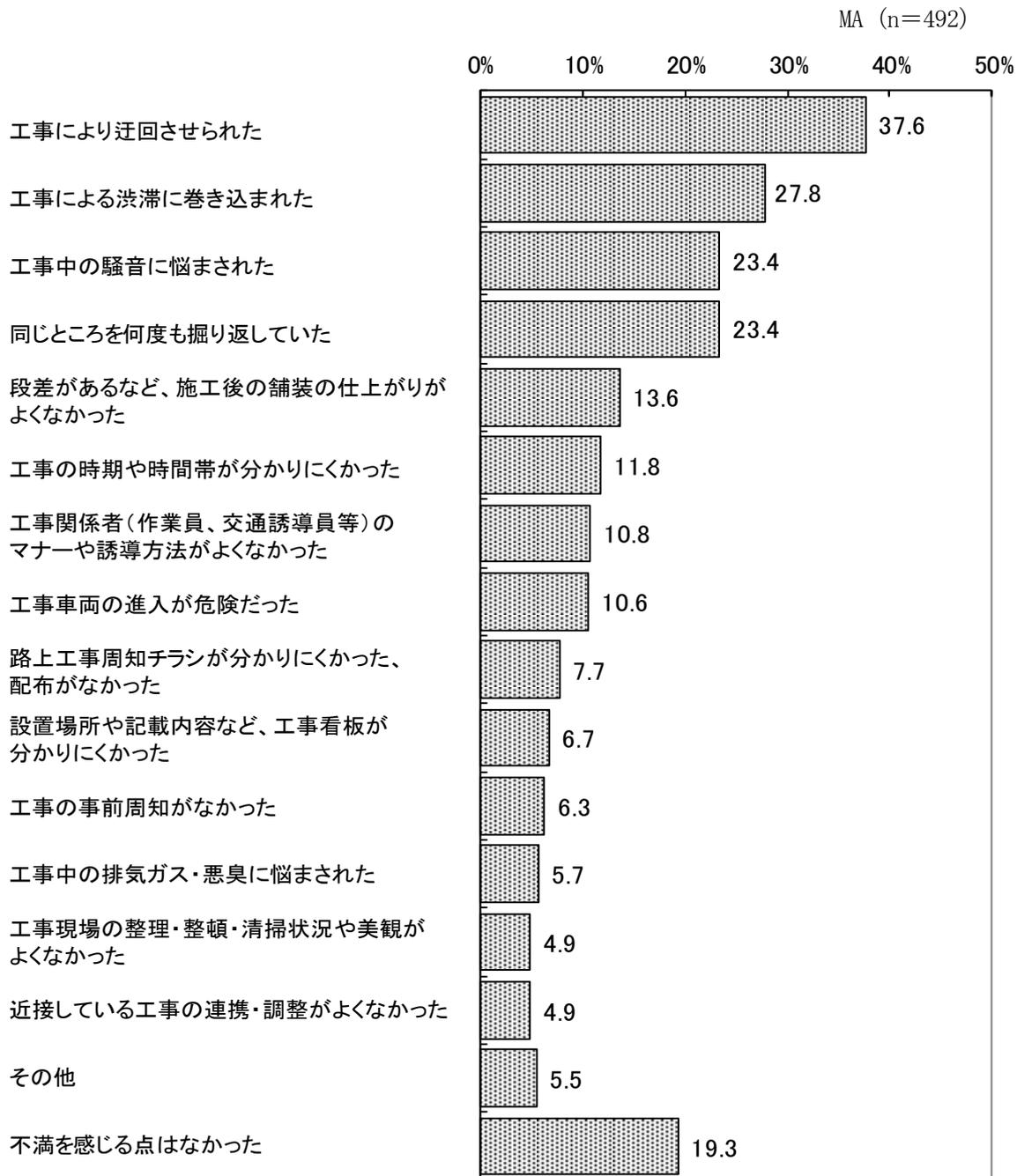
なお、「よいと感じる点はなかった」（28.9%）は3割近くであった。

◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



路上工事に対して不満を感じた点

Q7 あなたは路上工事について、この5年ほどの間でどのような点に不満を感じましたか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

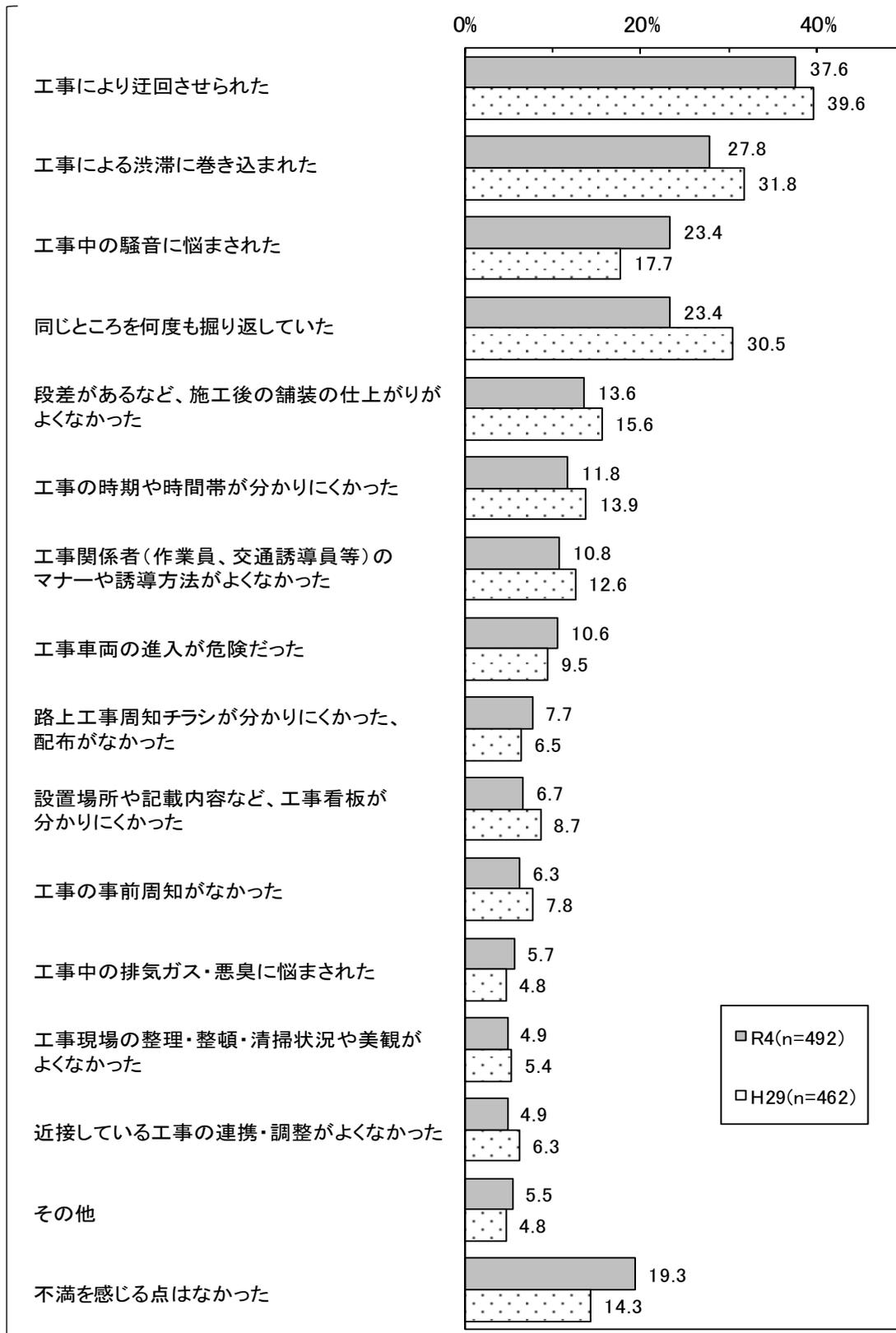


【調査結果の概要】

この5年ほどの間で、路上工事に対して不満を感じた点について聞いたところ、「工事により迂回させられた」(37.6%)が4割近くで最も高く、以下、「工事による渋滞に巻き込まれた」(27.8%)、「工事中の騒音に悩まされた」「同じところを何度も掘り返していた」(同23.4%)などと続いている。

なお、「不満を感じる点はなかった」(19.3%)は2割近くであった。

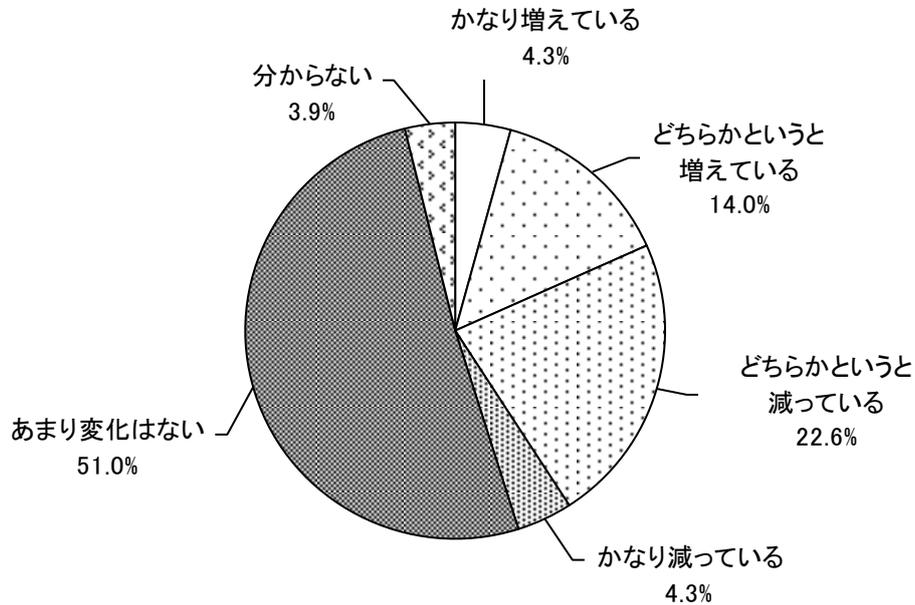
◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



路上工事に対する不満の頻度

Q8 あなたは5年前と比較すると、路上工事に対して不満を覚えた頻度が増えましたか。

(n=492)

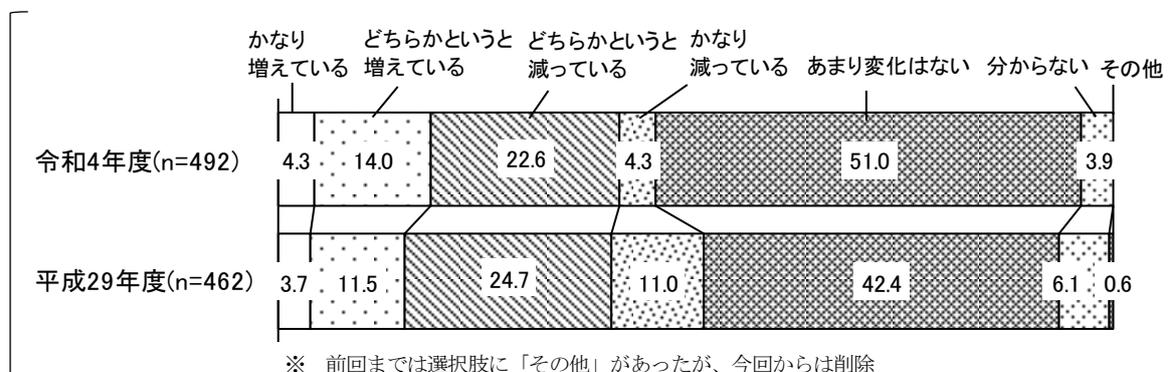


【調査結果の概要】

5年前との比較で、路上工事に対する不満の頻度について聞いたところ、『増えている』(18.3%) (「かなり増えている」(4.3%)、「どちらかというが増えている」(14.0%)) が2割近くであり、『減っている』(26.9%) (「どちらかというが減っている」(22.6%)、「かなり減っている」(4.3%)) は3割近くであった。

なお、「あまり変化はない」(51.0%) は5割超であった。

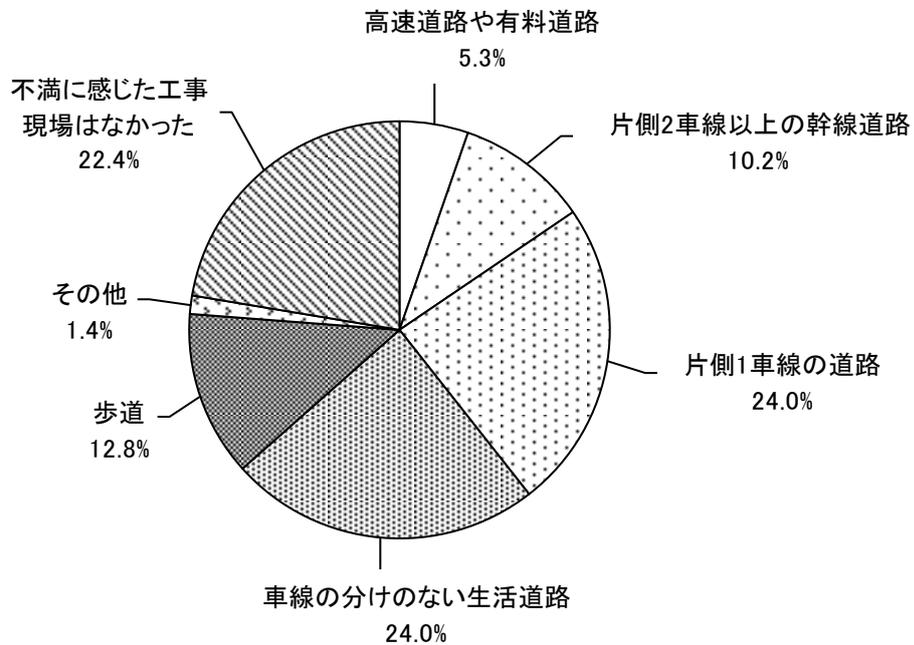
◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



不満を感じた路上工事現場

Q 9 あなたがこの5年ほどの間で最も不満を感じた路上工事の現場はどこでしたか。

(n = 492)

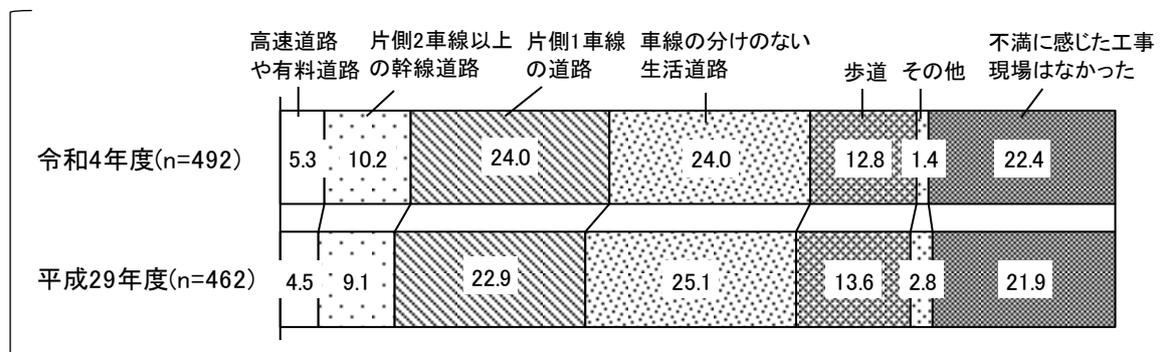


【調査結果の概要】

この5年ほどの間で、最も不満を感じた路上工事現場について聞いたところ、「片側1車線の道路」「車線の分けのない生活道路」(24.0%)が同率の2割半ばで最も高く、以下、「歩道」(12.8%)、「片道2車線以上の幹線道路」(10.2%)などと続いている。

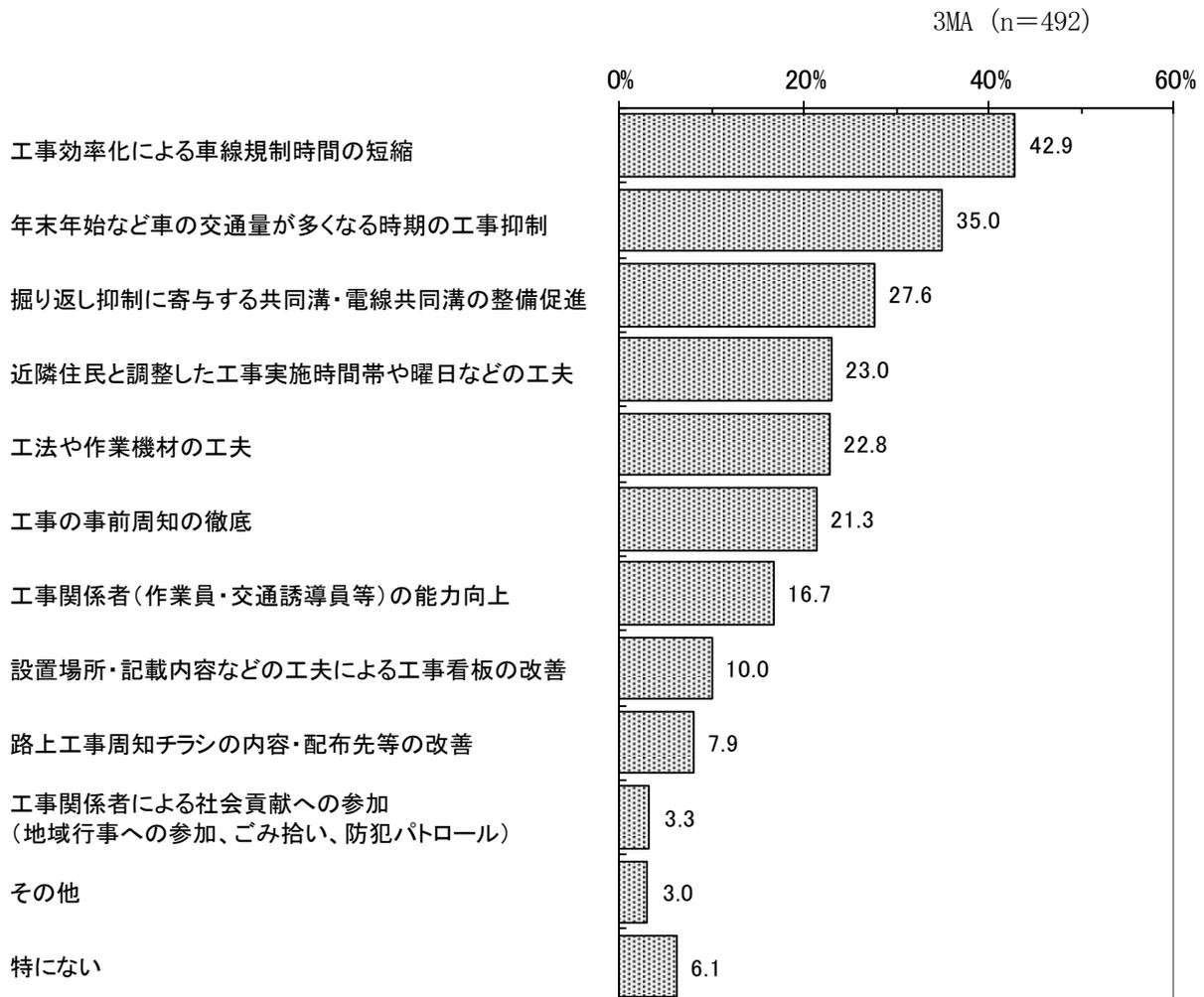
なお、「不満を感じた工事現場はなかった」(22.4%)は2割超であった。

◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



不満や不便を解消するための対策

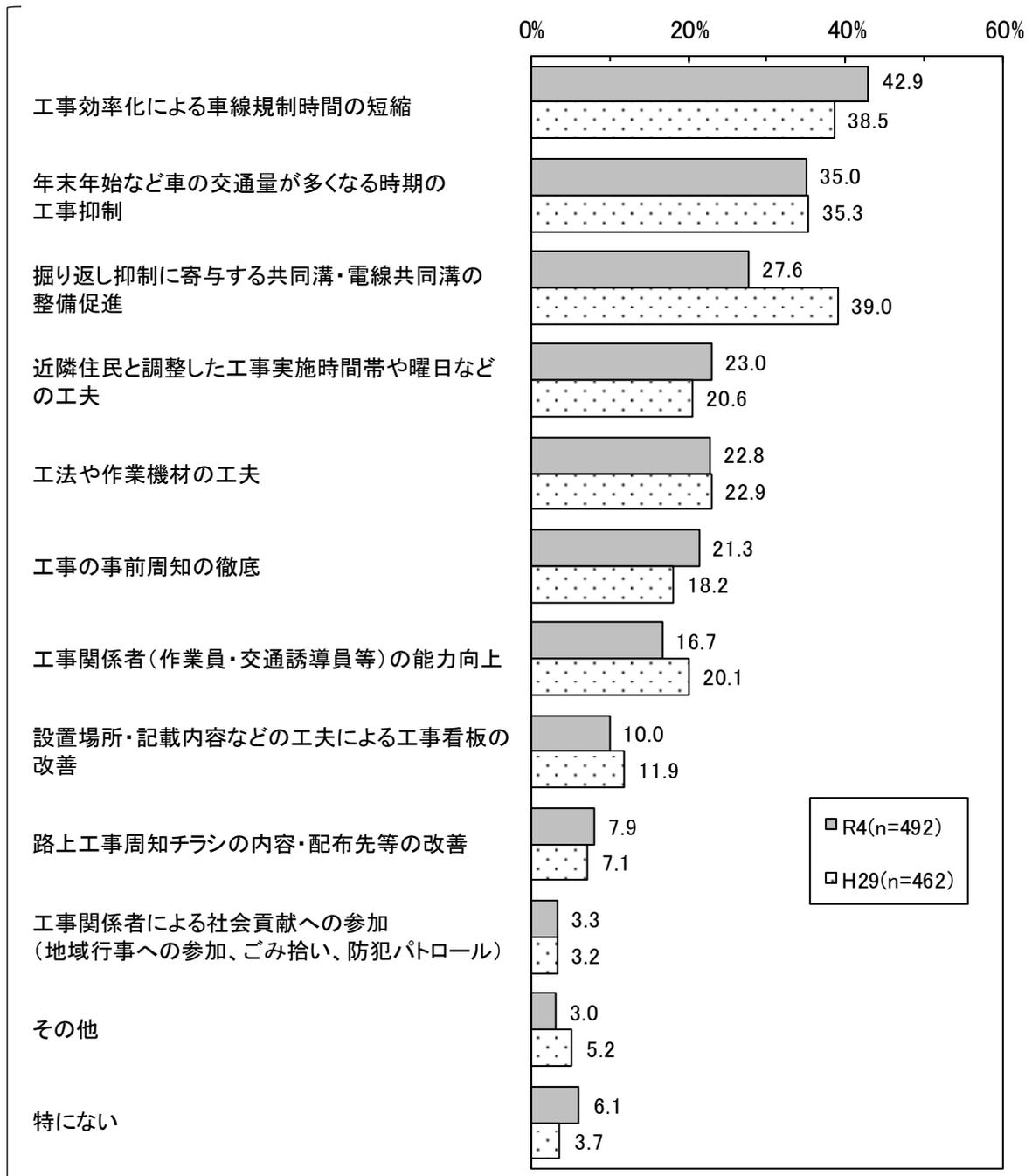
Q10 あなたは、路上工事を原因とした不満や不便を解消するために、どのような対策がとられるとよいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



【調査結果の概要】

路上工事を原因とした不満や不便を解消するための対策について聞いたところ、「工事効率化による車線規制時間の短縮」(42.9%)が4割を超えて最も高く、以下、「年末年始など車の交通量が多くなる時期の工事抑制」(35.0%)、「掘り返し抑制に寄与する共同溝・電線共同溝の整備の促進」(27.6%)などと続いている。

◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



知っている路上工事対策

Q11 あなたは、交通渋滞の解消や掘り返し防止など、路上工事の改善のために、道路管理者※1やライフライン事業者※2などが行っている対策を知っていますか。次の中から知っている対策をすべて選んでください。

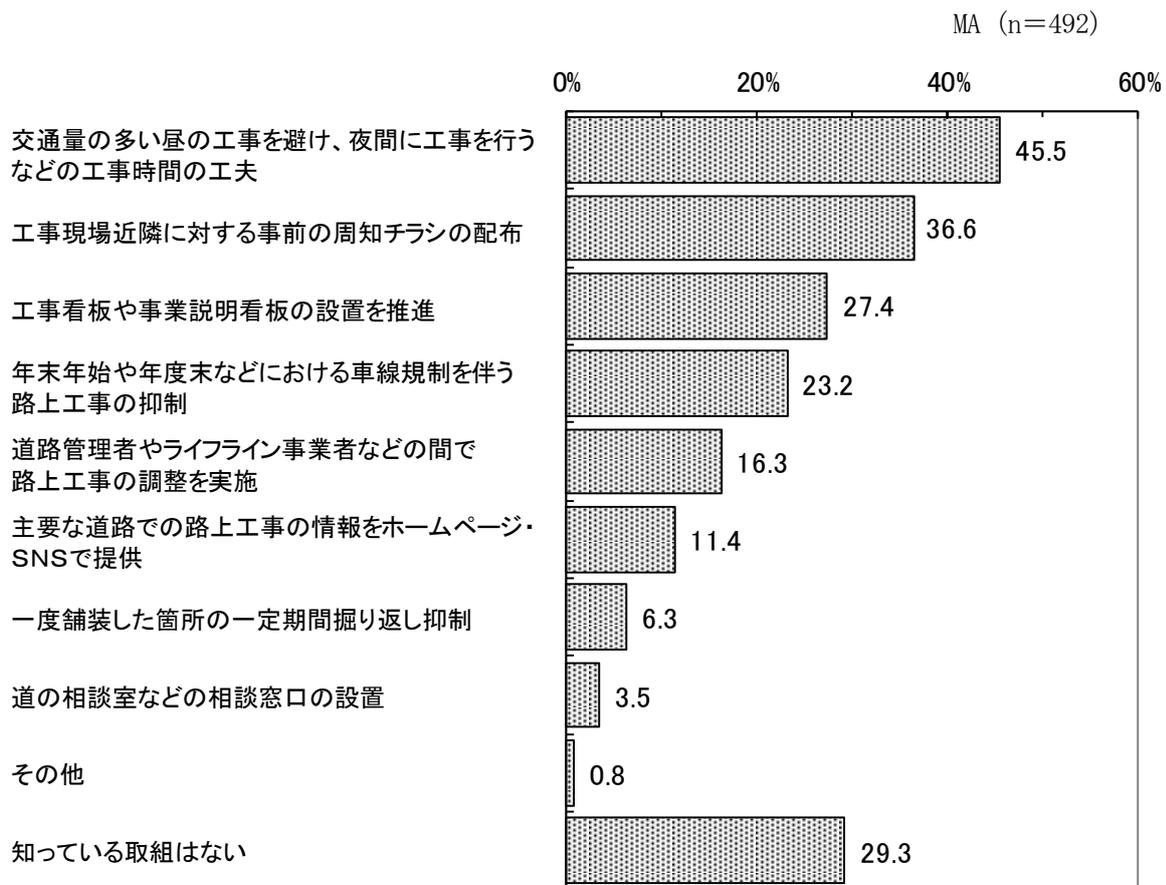
※1 道路管理者の主たる組織

国道：東京国道事務所（国土交通省）

都道：東京都建設局

※2 ライフライン事業者

都市生活の維持に必要な電気、ガス、上下水道、通信、輸送などを管理する事業者

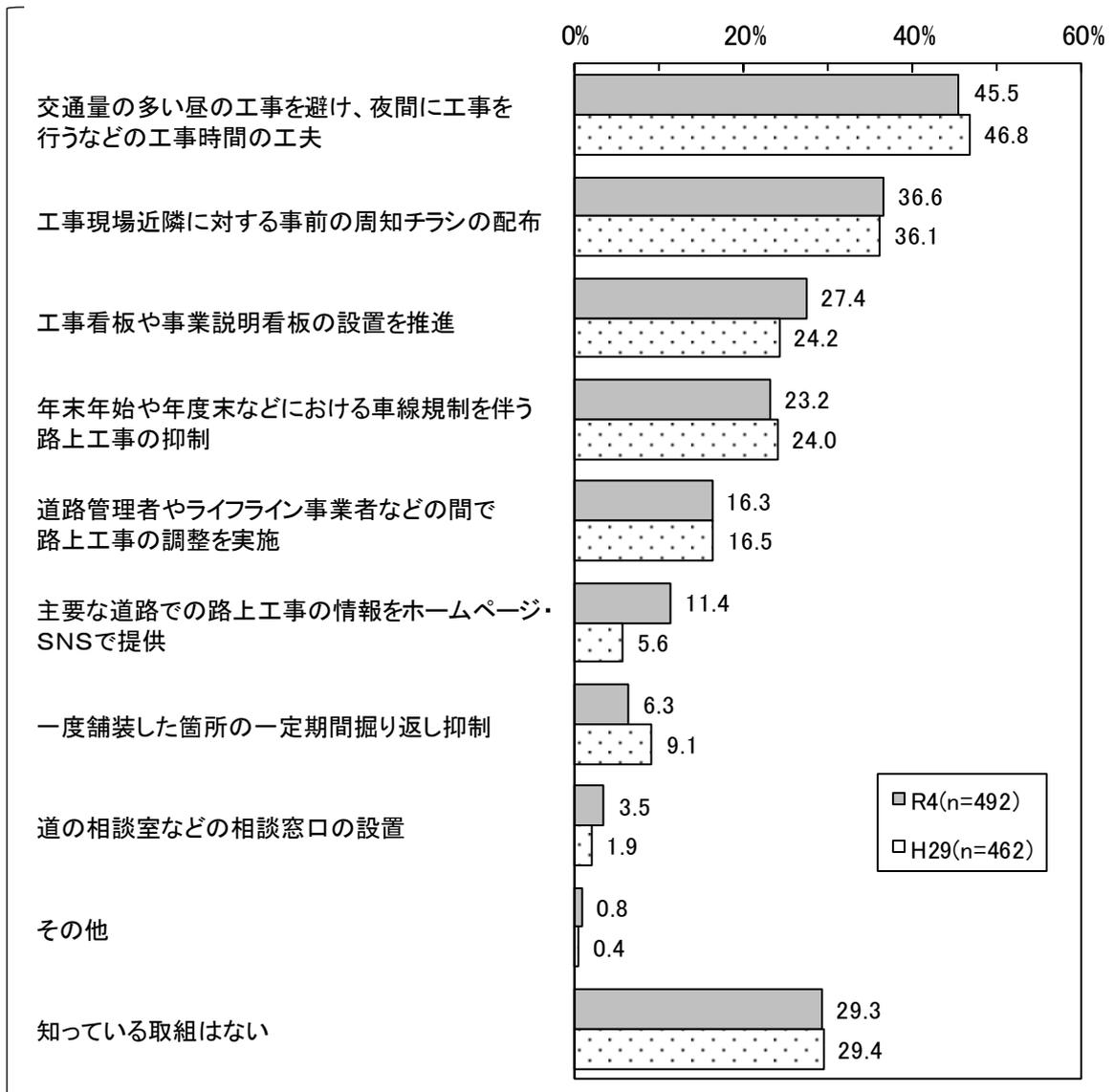


【調査結果の概要】

知っている路上工事対策について聞いたところ、「交通量の多い昼の工事を避け、夜間に工事を行うなどの工事時間の工夫」（45.5%）が4割半ばで最も高く、以下、「工事現場近隣に対する事前の周知チラシの配布」（36.6%）、「工事看板や事業説明看板の設置を推進」（27.4%）などと続いている。

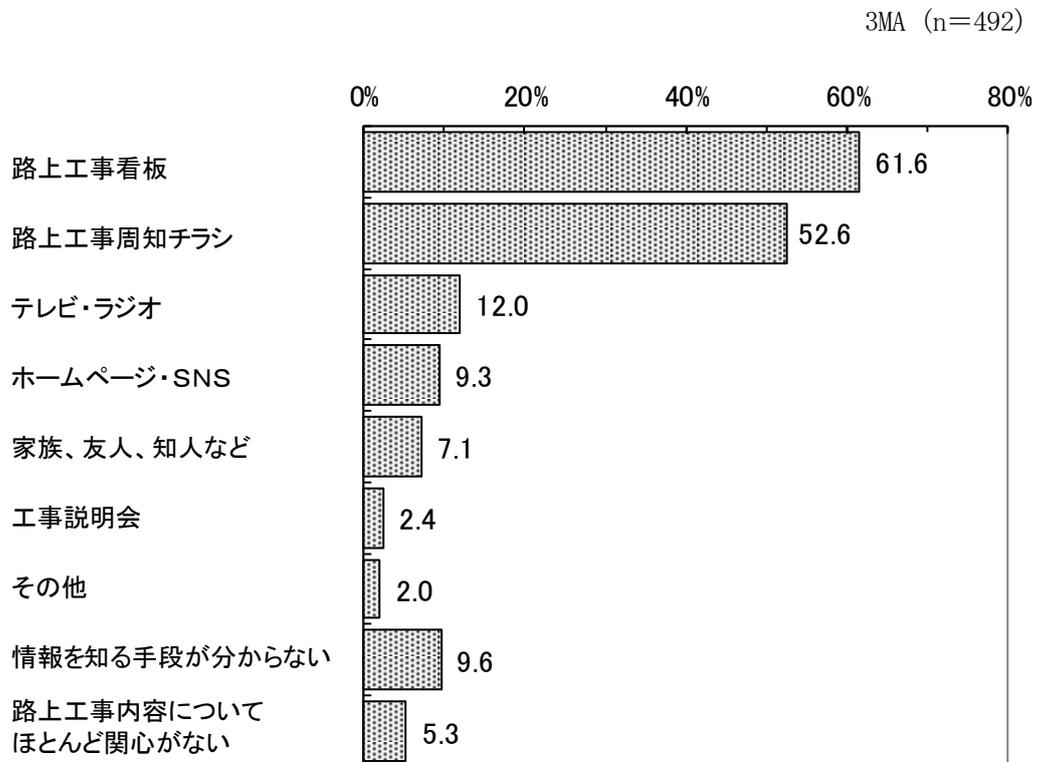
なお、「知っている取組はない」（29.3%）は3割近くであった。

◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



路上工事の情報収集

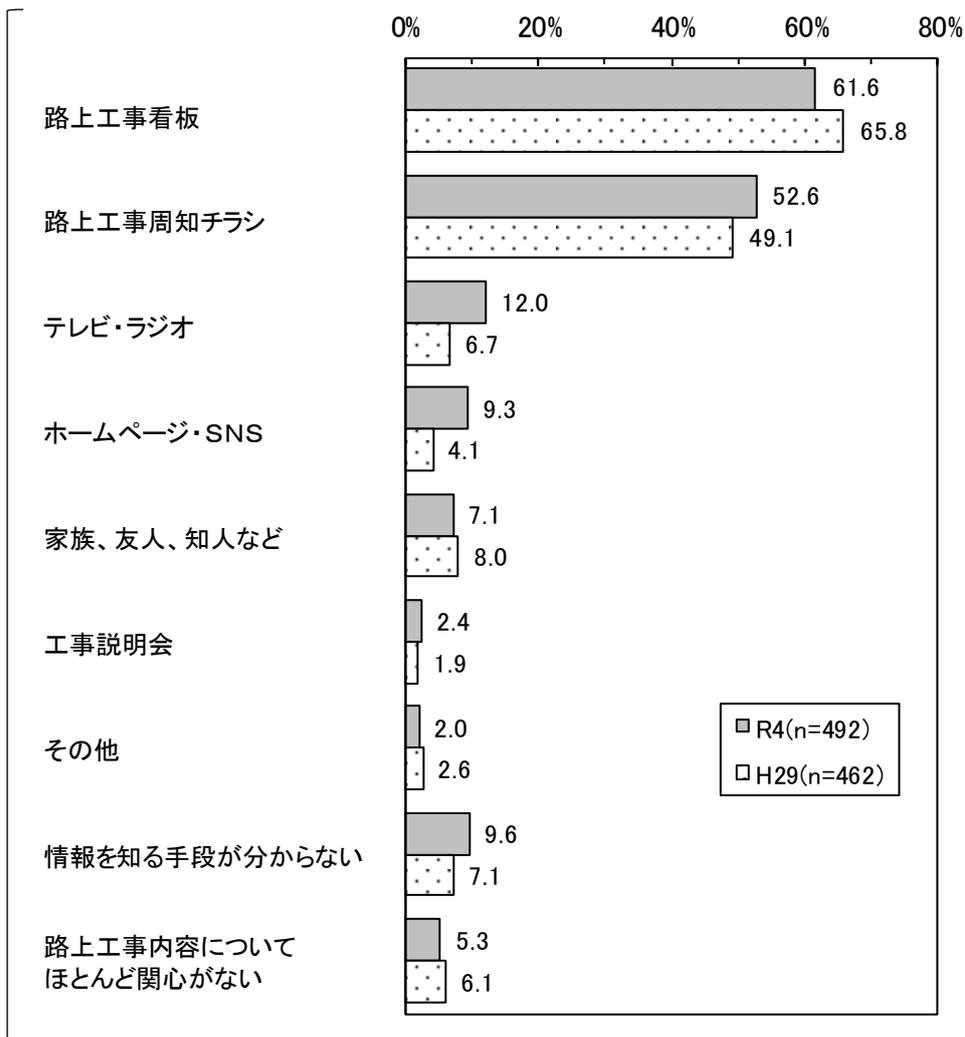
Q12 あなたは、路上工事内容に関する情報をどこで知ることが多いですか。次の中から3つまで選んでください。



【調査結果の概要】

路上工事の情報収集について聞いたところ、「路上工事看板」(61.6%)が6割を超えて最も高く、以下、「路上工事周知チラシ」(52.6%)、「テレビ・ラジオ」(12.0%)などと続いている。

◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



路上工事看板・事業説明看板

Q13 協議会では、分かりやすい路上工事看板や事業説明看板等の設置に取り組んでいます。あなたは、これらの看板についてどう思いましたか。ここ1年ほどの間の印象で当てはまるものを次の中からすべて選んでください。

※ 協議会：東京都道路工事調整協議会（路上工事に係る道路交通の円滑化を図るため、都、国、警視庁、ライフライン事業者等で構成された組織）

※ 写真は参考例です。実際に見た看板の印象をお答えください。

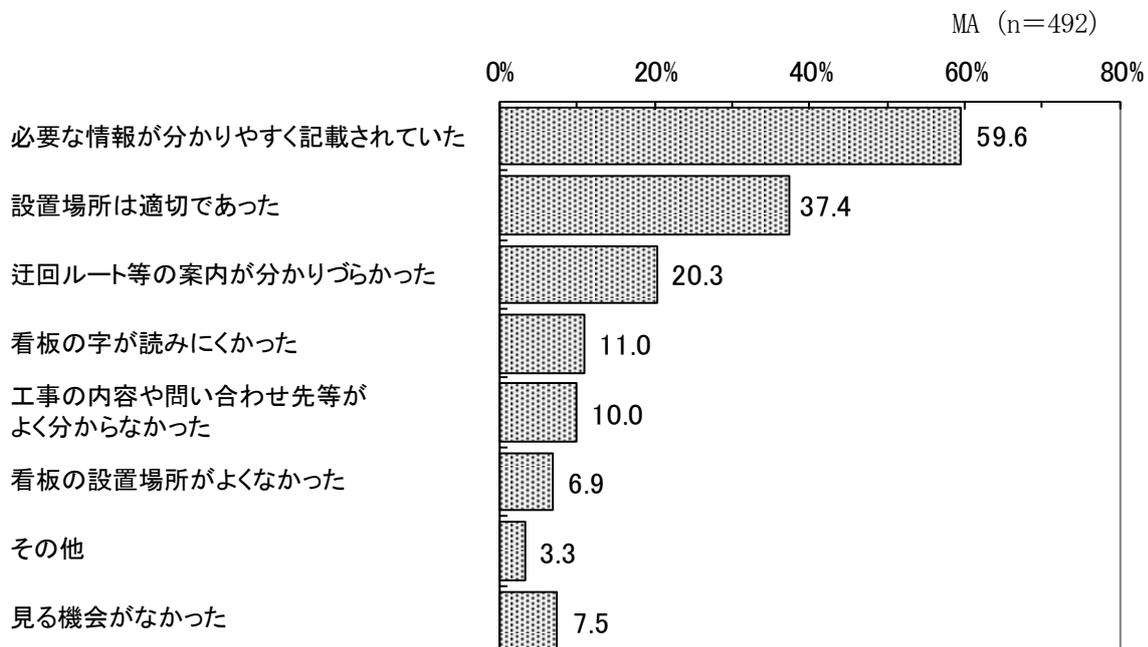
【路上工事看板（例）】



【事業説明看板（例）】



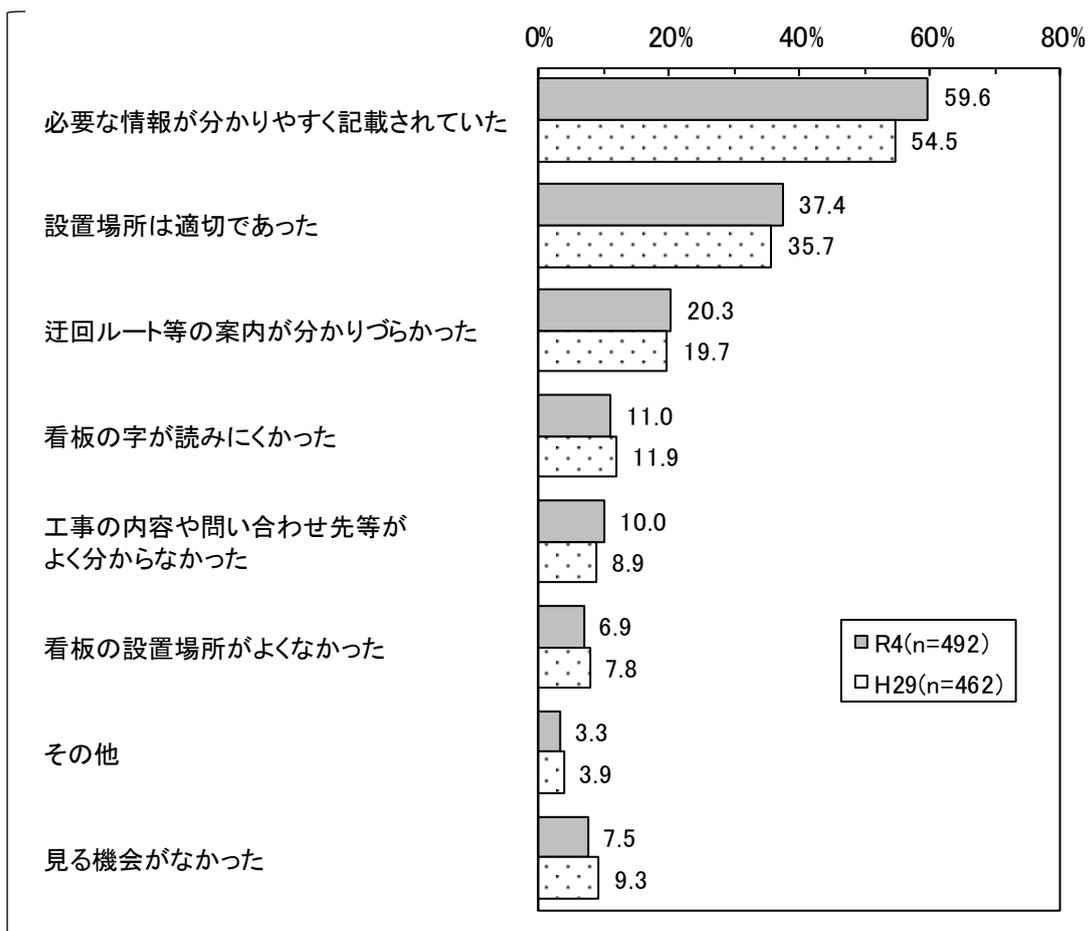
(デジタルサイネージ看板)



【調査結果の概要】

ここ1年ほどの間の、路上工事看板・事業説明看板の印象について聞いたところ、「必要な情報が分かりやすく記載されていた」（59.6%）が約6割で最も高く、以下、「設置場所は適切であった」（37.4%）、「迂回ルート等の案内が分かりづらかった」（20.3%）などと続いている。

◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



路上工事の周知チラシ

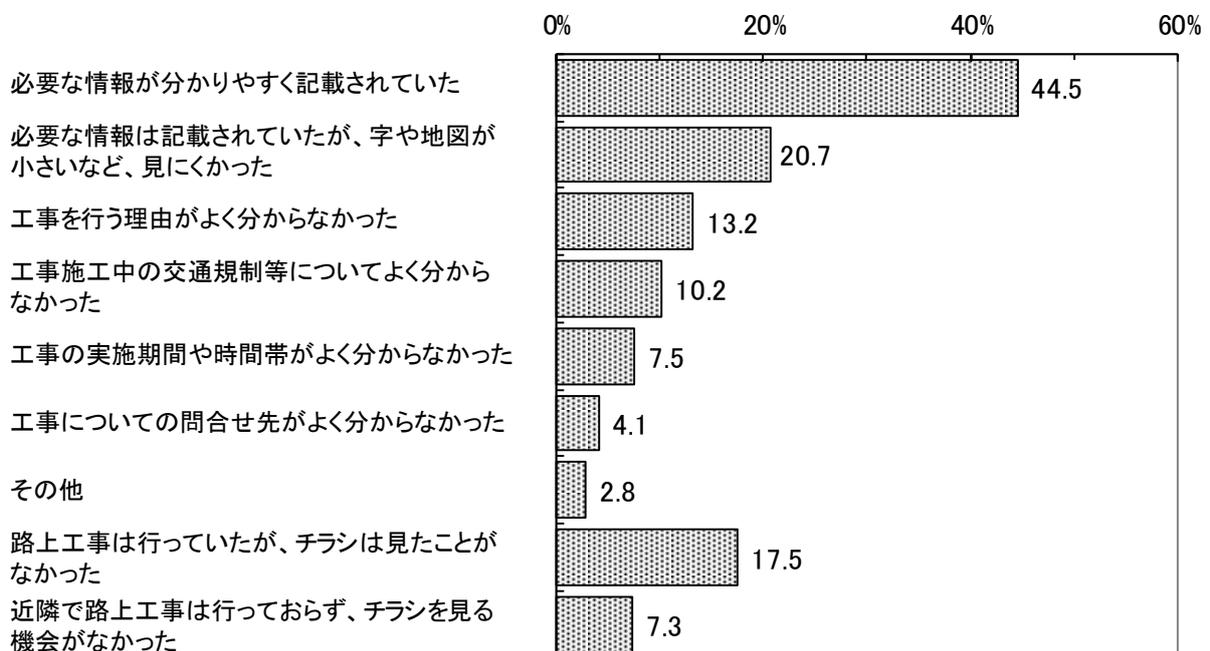
Q14 協議会では、近隣の方などに工事情報を提供するために、分かりやすい路上工事周知チラシを作成する取組を行っています。あなたは、路上工事周知チラシを見てどう思いましたか。ここ1年ほどの間の印象で当てはまるものを次の中からすべて選んでください。

※ 次の路上工事周知のチラシは参考例です。実際に見たチラシの印象をお答えください。

【路上工事周知チラシ（例）】



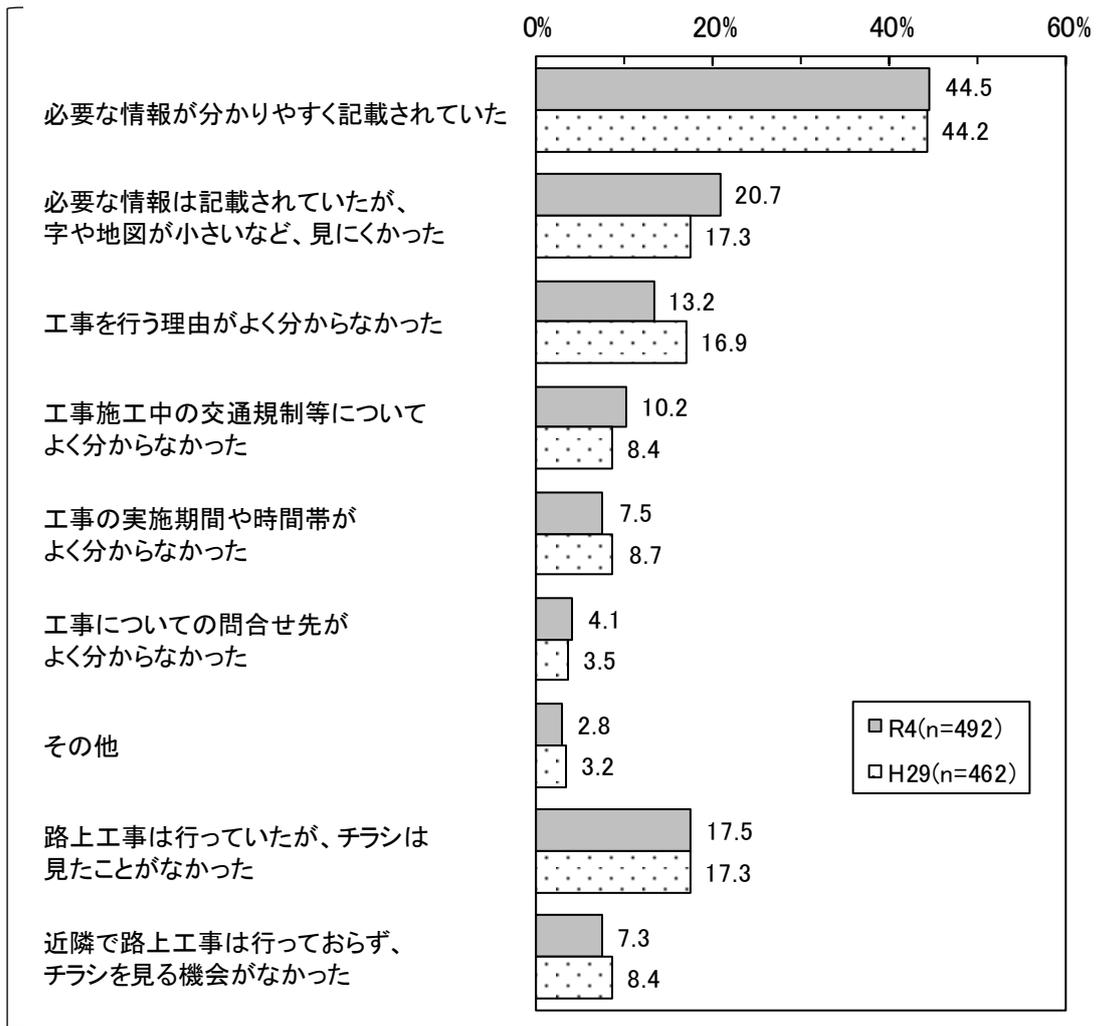
MA (n=492)



【調査結果の概要】

ここ1年ほどの間の、路上工事の周知チラシの印象について聞いたところ、「必要な情報が分かりやすく記載されていた」（44.5%）が4割半ばで最も高く、以下、「必要な情報は記載されていたが、字や地図が小さいなど、見にくかった」（20.7%）、「工事を行う理由がよく分からなかった」（13.2%）などと続いている。

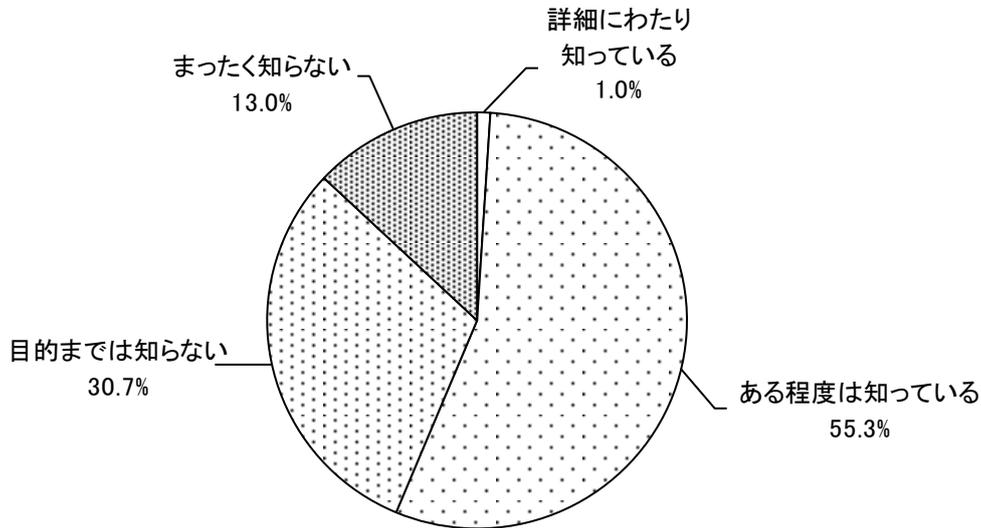
◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



路上工事の目的の認知度

Q15 路上工事が施工される場合、工事看板、周知チラシ等により工事情報をお知らせしています。あなたは、お住まいの地区で施工される路上工事の目的について、どの程度知っていますか。

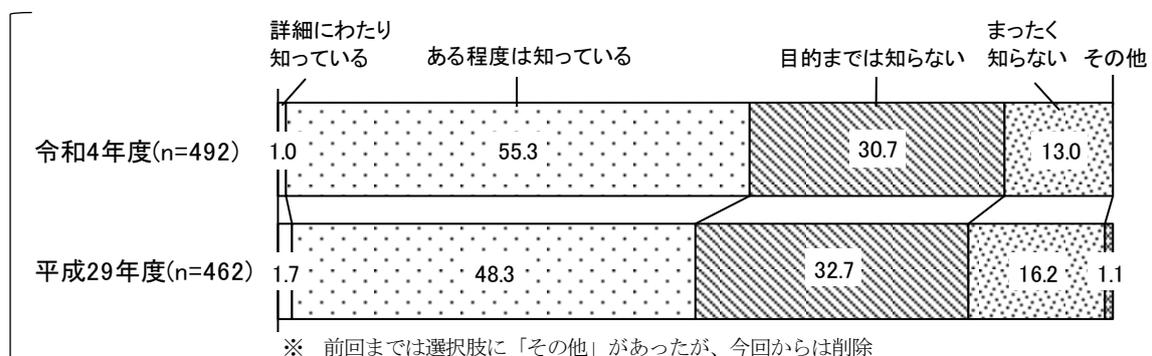
(n = 492)



【調査結果の概要】

路上工事の目的の認知度について聞いたところ、『知っている』(56.3%) (「詳細にわたり知っている」(1.0%)、「ある程度は知っている」(55.3%)) が5割半ばであり、『知らない』(43.7%) (「目的までは知らない」(30.7%)、「まったく知らない」(13.0%)) は4割半ばであった。

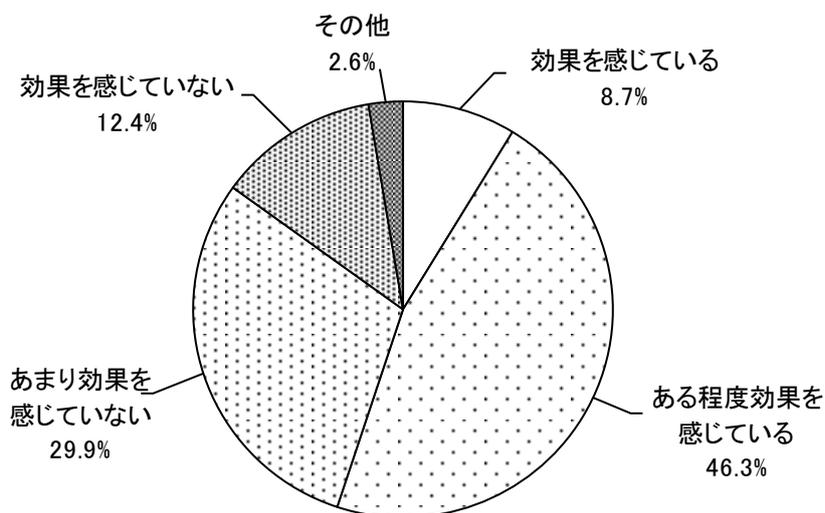
◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



繁忙期の路上工事の抑制効果

Q16 都内では、交通渋滞の低減などを目的として、繁忙期である年末年始、年度末、ゴールデンウィーク及び旧盆期の間は、渋滞が著しい高速道路や主要な一般道の路上工事を抑制しています。あなたはこの取組について、効果を感じていますか。

(n = 492)



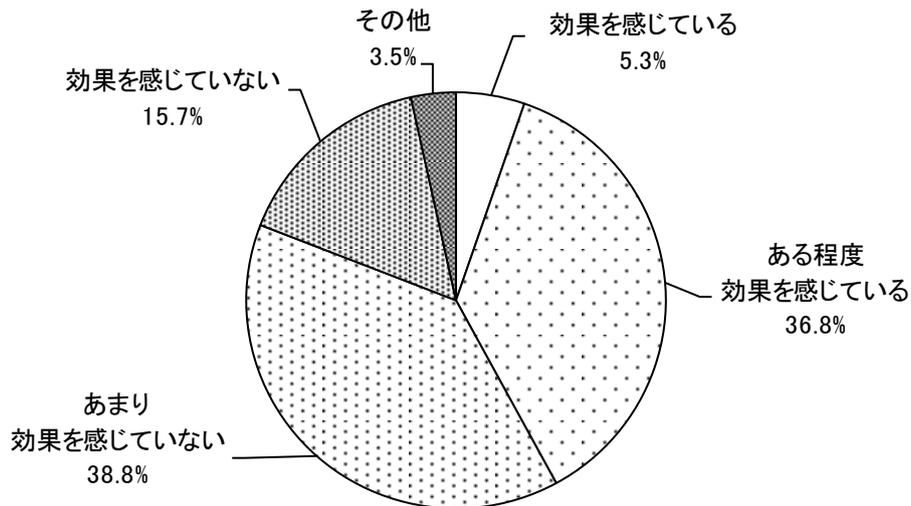
【調査結果の概要】

繁忙期の路上工事の抑制効果について聞いたところ、『効果を感じている』（55.0%）（「効果を感じている」（8.7%）、「ある程度効果を感じている」（46.3%））が5割半ばであり、『効果を感じていない』（42.3%）（「あまり効果を感じていない」（29.9%）、「効果を感じていない」（12.4%））は4割超であった。

同一箇所掘り返しの抑制効果

Q17 道路管理者は、道路の新設や補修、ライフラインの工事などで新たに舗装を行った場合、沿道の方への配慮や道路の損傷防止のため、その箇所について一定期間掘り返しの抑制を行い、計画的に工事が実施されるように調整しています。あなたはこの取組について、効果を感じていますか。

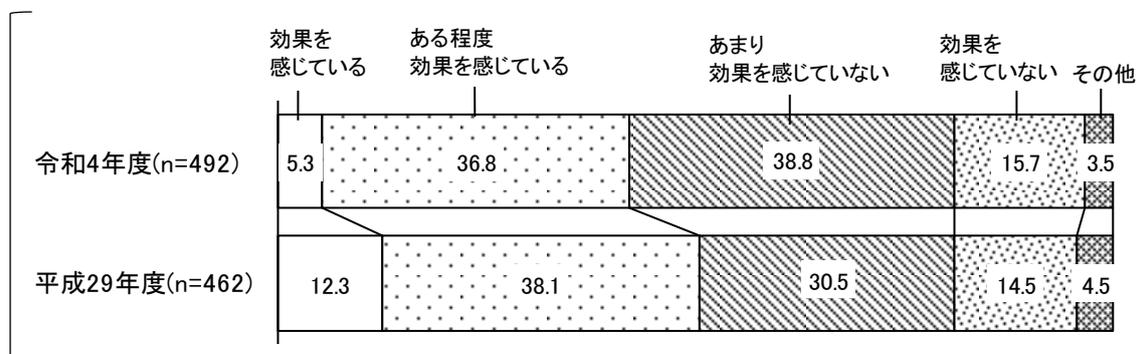
(n = 492)



【調査結果の概要】

同一箇所掘り返しの抑制効果について聞いたところ、『効果を感じている』（42.1%）（「効果を感じている」（5.3%）、「ある程度効果を感じている」（36.8%））が4割超であり、『効果を感じていない』（54.5%）（「あまり効果を感じていない」（38.8%）、「効果を感じていない」（15.7%））は5割半ばであった。

◎前回調査との比較 （前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」）



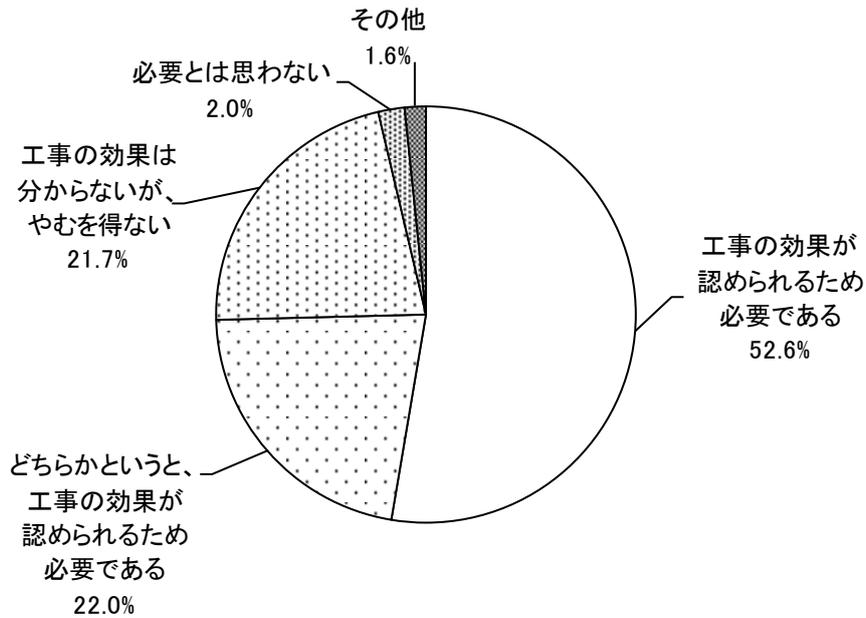
今後の路上工事

Q18 今後、都内では、インフラ施設の耐震化工事や老朽化等に伴う工事※の増加が見込まれています。あなたはこのような工事の増加についてどう思いますか。

※ インフラ施設の耐震化工事や老朽化等に伴う工事

水道管の耐震化工事や下水道管・ガス管の老朽化対策工事、電線地中化工事など

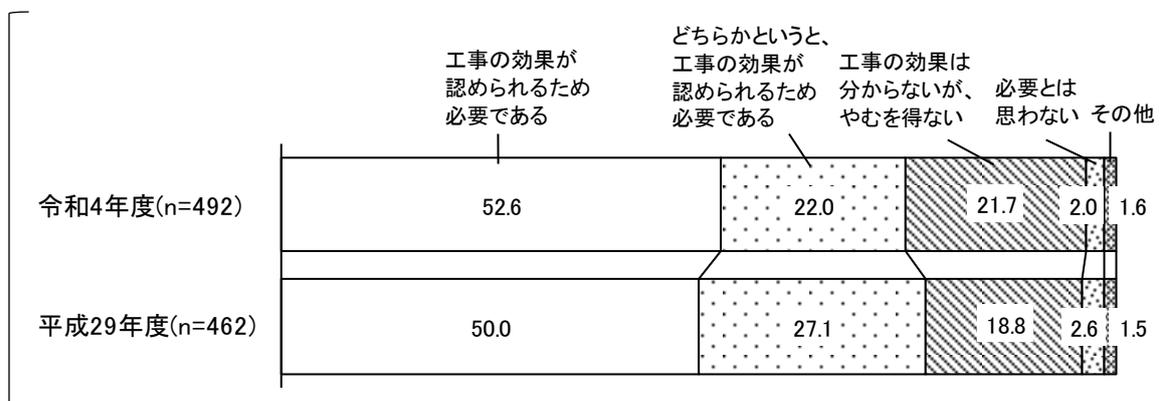
(n = 492)



【調査結果の概要】

今後の耐震化や老朽化等に伴う路上工事の増加について聞いたところ、『工事が認められるため必要』(74.6%) (「工事が認められるため必要である」(52.6%)、「どちらかという、工事が認められるため必要である」(22.0%)) が7割半ばであり、「工事の効果は分からないが、やむを得ない」(21.7%) が2割超であった。

◎前回調査との比較 (前回：平成30年1月実施「東京の路上工事の現状」)



路上工事に関して（自由意見）

Q19 路上工事対策の取組や路上工事全般について、あなたの考えを自由にお書きください。

(n=473)

(1) 道路工事の計画（時間帯、整備等）について	161 件
(2) 道路工事の管理（安全性、騒音等）について	79 件
(3) 周知・PRについて	75 件
(4) 迂回・誘導について	60 件
(5) 道路工事の必要性について	51 件
(6) 感想・イメージについて	46 件
(7) その他	1 件

（主なご意見）

（1） 道路工事の計画（時間帯、整備等）について 161 件

- 路上工事は、生活上やむを得ないと思います。不便に感じていた道路も、工事により快適になることもある一方で、あまり変わらないなど多々感じることもあります。その間是不自由を強いられているので、どういった効果があるのかを工事を始める前にきちんと精査してほしいです。
もしかしたら効果はあるのかもしれませんが、労力や資金を費やすほどの等価値があるのかどうかを、第三者を募って吟味していくのも一手ではないかなと思います。
(男性 10代 三鷹市)
- 年度末頃は工事が多いように感じる。時期をずらして集中しないように行えないものかと思う。
(女性 20代 新宿区)
- 工事の必要性は理解している。工事箇所が隣接し過ぎないように、工事のスケジューリングを管理してもらえると助かる。
(男性 20代 大田区)
- 同時期に造られたり工事されたものが、ちょうど同じタイミングで工事が必要となるので、元々同時多発的に工事をせねばならず、大変だと思う。災害が起きる可能性も高いので、周知を工夫しつつ、必要箇所は速やかに実施いただけるとうれしいです。
(女性 30代 港区)
- 夜間の工事は避けてほしい。音はしなくても工事の振動が離れていても伝わる。
(男性 30代 文京区)

- 老朽化で必要な工事もあると思うので、あらかじめ周知し、安全管理を徹底して実施するなら都民としてもぜひ応援したいですし、協力します。
近所にも陥没した道路があり、毎回運転していると危険なのですが、そういうのはどこに問い合わせればいいのかわかりません。
少しずつでも構いませんので、大事故が起こる前にそうした危ない道路の調査を進め、工事も進めていただきたいと思います。(女性 40代 青梅市)
- 可能な限り日中の工事は避けていただき、夜間帯に実施してほしい。(男性 40代 八王子市)
- すでに実施していると思いますが、路上工事を実施する時間帯は、なるべく交通量が少ない時間帯に実施していただきたいと思います。(男性 40代 町田市)
- これまで同じ場所や周辺を何度も掘り起こす工事を見てきたので、無駄だなと感じたことが何度もあった。掘り返しの抑制で計画的に工事が行われるようになったのは、とても良いことだと思う。(女性 50代 豊島区)
- いわゆる電柱の地中化をもっと推進すべきと考える。東京都として地中化に高い目標を掲げ、都民にそのメリットを強く訴えて理解を得て、実現に向け努力していただきたい。この施策により、無駄な掘り返しや騒音を大きく削減できることになると思います。(男性 60代 港区)
- 電柱の地中化を進めることにより、歩道を有効に活用できると思います。これからも積極的に推進してください。(男性 70歳以上 千代田区)
- 路上工事は必ず発生しますから、インフラ管理者などとよく調整を行い、可能な限り短期間で工事を終えたり、最小の頻度で工事を実施してもらいたい。(男性 70歳以上 調布市)

(2) 道路工事の管理（安全性、騒音等）について 79件

- 路上工事自体は事故などを防ぐために必要であると思う。しかし、騒音がひどく、音で目が覚めてしまうくらいなので、周りへの影響を小さくしてもらいたい。(女性 20代 板橋区)
- 道路工事は税金が投入されるものなので、無駄なく適切な運営がなされるよう、チェック体制が機能することを期待します。(女性 30代 千代田区)
- やむを得ないのは承知しているのですが、家が大きな通りに面しているため、たまに行われる夜間の工事騒音が本当に辛いです。もっと防音性を高めて工事ができたらいいのですが、やはり難しいのでしょうか。(女性 30代 台東区)

- 路上工事をする際は、近隣住民や歩行者などに最大限配慮して、税金で工事を請け負っているというスタンスで謙虚に取り組んでいただきたい。もちろん安全第一で。
(男性 40代 西東京市)
- 近隣住民への配慮や深夜休日の作業が重なり、現場の方はご苦労されていると思います。だからこそ、年末年始や深夜休日には、現場の方も休める体制ができてほしいと思います。DX や一定期間の完全工事期間設置など、働きやすい環境づくりをされることを願っております。
(男性 40代 西東京市)
- 以前は、年度末に集中して予算を使い切るためにしているのかと思うことが多かった。土日が休みとは限らないし、昼間に寝る人もいるので、平日にも静かな日を作ってほしい。騒音対策をしっかりとしてほしい。
(女性 60代 町田市)
- 必要な工事はどんどんやってほしいが、安全第一で、周辺に迷惑がかからないようにしてほしい。
(女性 70歳以上 八王子市市)

(3) 周知・PRについて 75件

- 路上工事等のインフラ環境の修理保全は、都など公共の立場から公平に実施すべき事業だと思うので、ぜひ適切に進めていただきたい。
工事の目的まで明確に示した説明資料は、今回のアンケートの参考資料で初めて目にした。工事への納得感だけではなく、理解度も深まると思うので、ぜひ増やしてほしい。その際は図ではなく、写真を多く提示していただきたい。工事の目的と内容を具体的にイメージすることができ、道路という公共財の見方も変化するように思う。
また、一定期間の掘り返しを回避する工夫を伝えるために、前回の工事日時等も明記すると、より効果的な路上工事の案内となるように感じる。
(女性 20代 府中市)
- 時期や時間帯の周知が分かりやすく伝わるといいなと思います。
(女性 30代 新宿区)
- 新規敷設ではなく、既存設備メンテナンスの意味合いが強くなってきていると感じている。今後も公共財として維持使用していくために必要なものであることをアピールしてもいいと思う。更新メンテナンスをしなければどのような不利益が出るかなども公表していくべき。そのうえで、将来の財政でそれを支えていけるのかもみんなで検討していければよいと思う。
(男性 30代 大田区)
- 車線規制をしている場合は、もっと手前から知らせてほしい。自動車で走行中、道が混んでいるなど感じて近づくと、車線規制によるものと知り、車線変更がしづらいことが多い。
(男性 30代 小平市)

- 路上工事の看板等に、HP などの掲載先を QR コードで添付していただくと、アクセスしやすくいいと思います。
(女性 40代 板橋区)
- 天候や工事の進み具合、また対象道路の長さによって、工事期間に幅を持たせていることは理解できますが、近隣住民にとっては最寄り周辺道路の具体的な工事タイミングを事前に知りたいと思っています。夜間騒音が始まってから、そういえばこの時期だったと思い出し、悩まされることがあるので。
(女性 50代 大田区)
- 以前は、年度末の予算消化的なイメージのあった路上工事であるが、近年、工事が減っていると感じる。今後、路上工事が増える可能性があるのであれば、工事の目的や必要性（老朽化など）を、住民や道路利用者が分かるようにしていくことが大切だと思う。
(女性 50代 中野区)
- 情報の入手など、近くの場所の工事は知る機会もあると思うが、そうでないとなかなか難しいと思われる。必要であると思われる人にはスマホなどで情報を流すような予告システムなどがあると、迂回路を考えるなど、流れが変わる可能性はあると思われる。
(男性 50代 国分寺市)
- このアンケートで初めて知ったことが多かった。様々な取組を行っているのなら、もう少し PR してもよいのではないかと、思う。
(男性 60代 中央区)
- 何のための工事か、はっきりと分かりやすく表示してあるとよい。ただ舗装工事だとか電気工事だとかではなく、新設から何年くらい経ったので、路盤の状態が悪くなったなどが分かるように表示してあるとよい。
(男性 70歳以上 八王子市)

(4) 迂回・誘導について 60件

- 我が家では双子の乳児を抱えていて、一人でバスに乗車することが難しく、昼間、ベビーカーでバス道沿いを歩くことが多いです。道路によっては、段差でベビーカーにロックが掛かってしまったり、強い力をかけないと進めないことがあります。工事によって、ベビーカーでも通りやすい道になることを望みます。
(女性 20代 墨田区)
- 誘導の人がいても、時々どっちを通るのか分からない時があるため、積極的な声かけや看板を置いてもらいたい。
(女性 30代 千代田区)
- 近年特に、誘導員の方の所作が丁寧になっているように感じる。必要があって工事をしている訳で、元々通行止めや片側通行などの対応に大きな不満を覚えることはないが、丁寧な案内を受けると、それだけでこちらも優しく温かい気持ちになるので、とても良いと思う。
(男性 30代 葛飾区)

- 工事の必要性はよく分かるが、できる限り生活に支障が出ないように、引き続き配慮していただきたい。特に車道と歩道の区別のない生活道路を遮断する場合、迂回路を説明できる工事担当者を配置してほしい。車の運転席からは地図が見えず、困ることが多いので。 (女性 50代 世田谷区)
- 歩道上を工事で塞がれているときに、車道を通行するように誘導されることがあるが、安全確保が完全でないこともあると感じる。体の不自由な方や子供連れの方には危険だと感じることもあるので、歩行者の安全を最優先に考えてほしい。 (女性 60代 大田区)

(5) 道路工事の必要性について 51件

- 工事する近隣の理解を得るのが大変だと思うが、ライフラインなど必要不可欠な工事が多いため、致し方ないことだと思った。 (男性 20代 江戸川区)
- 道路や下水道設備の老朽化が進んでいるので、こうした工事を進めてくださっているのは、ありがたいことだと思います。多少不便になっても、道路陥没などの被害が出ないためにも、着実に進めてもらいたい。事前情報なども、ちらし・SNSなどでこまめに見るようにします。 (女性 30代 練馬区)
- 以前のように、「年度末だから工事が増える」ということより「必要な時に必要な工事をする」ということになっているのだろうとは思っていた。特に自宅周辺では、上下水道管の老朽化対策工事がなされていた時期があり、夜間に作業いただいて大きな混乱や渋滞もなく済んでいるイメージがあり、作業員の方には大変感謝していた。必要な工事は、多少住民の不便が伴っても、事前通告の元、行うべきだと思う。
また、無電柱化を幹線道路だけではなく、住宅街でもどんどん進めてほしい。 (女性 40代 大田区)
- インフラの老朽化・電柱の地中化等、道路工事はどうしても必要なもので、不満を感じても仕方がないとは思いますが。ただし、住民への周知として住居地区の工事情報だけではなく、都内地下にあるインフラ網がどこに何があって、どう老朽化しているので今後これだけの工事が必要である等、全体像についての啓発も必要だと思います。 (男性 60代 世田谷区)
- 通行者の安全に配慮がなされれば、問題はない。工事を行い、生活環境が良くなるのは、ありがたいこと。突然、上下水道・ガスが使えなくなる前に点検していただき、必要な工事を行ってほしいと思う。 (女性 60代 荒川区)

(6) 感想・イメージについて 46件

- 生活する上で、なくてはならないインフラ整備。ただ、私自身はそれについてほとんど関心を寄せず過ごしている。それだけレベルの高い仕事をしていてということだろう。人知れず私の生活を支えてくださっている工事に携わる方々には、この機会に感謝と尊敬の意を示さなければいけないと感じた。
(女性 20代 調布市)

- 道路の工事や塗装など、日常で気になることはなかったが、今回のアンケートで表示やチラシを無意識に見ていることに気づきました。特にチラシに関しては、工事場所や時間、目的が記載されており、工事時間内で騒音など気になることがあれば、仕事場を変えるなどの対応も取っていました。工事の詳細は気にならないと思っていましたが、ライフスタイルの変化により心境の変化があるものだと思います。
(女性 30代 墨田区)

- 工事の作業者の皆さんが頑張ってくれているおかげで、インフラが守られているなど、工事現場を通るたびに感じます。
(女性 40代 多摩市)

- 最も重要なインフラ整備です。引き続きよろしく願いいたします。現場作業員のご苦労には頭が下がります。この場を借りて感謝申し上げます。
(男性 70歳以上 多摩市)